

工 事 費 執 行 (変 更) 概 要 書		教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	課員	審査員	設計者
執行年度	工 事 名	H30 柿岡小学校 管理室及び教室棟 トイレ改修工事							
30 年度	工事場所	石岡市柿岡2159番地2							
設計 (変更) 概要				施 工 方 法	請 負 ・ ~~委 託~~				
H30 柿岡小学校 管理室及び教室棟 トイレ改修工事				原契約年月日	平成 30 年 月 日				
1 改修工事				工 期	平成 30 年 7 月 日から				
1～3F計8室便所改修					平成 30 年 9 月 15 日まで 日間				
和便器を洋便器に取替え 8 ヶ所				請 負 人					
小便器取替え 4 ヶ所									
洗面器取替え 1 ヶ所									
ブース取替え 12 ヶ所				費 目	起 工	第 回変更	第 回変更	増 減 (△)	
換気扇設置 4 ヶ所									
照明器具移設 0 ヶ所									
照明器具新設 4 ヶ所				起 工 額	円	円	円	円	
鏡取替え 8 ヶ所									
床: 湿式を乾式に改修 8 室									
壁改修 8 室				請負に付する額	円	円	円	円	
既存天井EP 8 室									
男女間仕切壁新設 4 ヶ所									
				工 事 価 格	円	円	円	円	
				消費税 相当額	円	円	円	円	
				請 負 決 定 額	円	円	円	円	
変更理由				変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ (少数第7位切り捨て6位止め) 変更積算工事価格 円 × 請負比率 円 = 変更積算工事価格 円					

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	H30 柿岡小学校 管理室及び教室棟 トイレ改修工事						
	[種目内訳]						
A	直接工事費		1.0	式			一般 処分費
B	共通費		1.0	式			
	工事価格	A+B	1.0	式			
	消費税相当額	8%	1.0	式			
	請負に付する額		1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
B	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場経費		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	契約保証費		1.0	式			
	共通費 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
A	直接工事費						
1	仮設工事		1.0	式			
2	撤去工事		1.0	式			
3	建具工事		1.0	式			
4	内装工事		1.0	式			
5	機械設備工事		1.0	式			
6	電気設備工事		1.0	式			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	[細目内訳]						
1	仮設工事						
	墨出し		103.0	m ²			
	養生		103.0	m ²			
	整理清掃・あと片付け		103.0	m ²			
	内部脚立足場		103.0	m ²			
	養生	廊下、階段	208.0	m ²			
	小計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2	撤去工事						
	トイレブース撤去	木製8か所	1.0	式			
	床タイル撤去	50＊50タイル	112.0	m ²			
	天井取り外し、復旧	フレキシブルボード厚5	8.0	ヶ所			
	撤去材処分費	木材	4.7	m ³			
	撤去材処分費	がれき	3.3	m ³			
	同上 運搬費	4t車	2.0	台			
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
3	建具工事						
	TB-1 トイレブース	メラミン 4140*1900+1110*1900*3(扉4)	1.0	箇所			
	TB-2 トイレブース	メラミン 4140*1900+1110*1900*3(扉4)	1.0	箇所			
	TB-3 トイレブース	メラミン 4140*1900+1110*1900*3(扉4)	1.0	箇所			
	TB-4 トイレブース	メラミン 2050*1900+1110*1900(扉2)	1.0	箇所			
	TB-5 トイレブース	メラミン 1940*1900+1000*1900(扉2)	3.0	箇所			
	TB-6 トイレブース	メラミン 1940*1900+1000*1900(扉2)	1.0	箇所			
	TB-7 トイレブース	メラミン 1926*1900(扉1)	3.0	箇所			
	TB-8 トイレブース	メラミン 1926*1900(扉1)	1.0	箇所			
	取付調整・運搬費		1.0	式			
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
4	内装工事						
	床 モルタル金ゴテ	厚30	112.0	m ²			
	ビニル床シート	耐水、溶接 厚2.5 マーブル	112.0	m ²			
	巾木 ビニル床シート巻き上げ	厚2.5 マーブル、H100	17.3	m ²			
	樹脂モルタル塗り	H100 既存タイルの上	173.0	m			
	巾木天端見切り金物	アルミ	173.0	m			
	シーリング	5*5程度	173.0	m			
	壁 化粧ケイカル板厚6貼	既存タイル下地	316.0	m ²			
	男女間仕切壁		4.0	ヶ所			
	天井 EP	既存部	112.0	m ²			
	素地ごしらえ		112.0	m ²			
	トイレピクトサイン	アクリル板(グレー地) 300*300*5+5(捨て貼り)	10.0	箇所			
	1Fスラブ解体復旧	配管工事共	1.0	式			
	床スラブ復旧費	コンクリート、差筋	1.0	式			

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
5	機械設備工事						
	衛生機器撤去		1.0	式			
	壁内、床下配管 撤去、穴埋め補修		1.0	式			
	撤去材処分費	陶器	0.25	t			
	同上 運搬費	2t車	1	台			
	洋便器	CFS497BY(付属品共)	8.0	ヶ所			
	小便器	TEA62ADR UFH508CR(付属品共)	4.0	ヶ所			
	洗面器	TENA41AW L260C(付属品共)	1.0	ヶ所			
	紙巻器	YH650	28.0	ヶ所			
	鏡	YM6090A(付属品共) 900W*600H	8.0	ヶ所			
	小 計						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
6	電気設備工事						
	換気扇		4.0	ヶ所			
	照明器具 DL	白 径100 LED(1400lm)程度	4.0	箇所			
	小 計						

特 記 仕 様 書 (建築工事)

I 工 事 概 要

1. 工事名 H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事
2. 工事場所 石岡市柿岡 2 1 5 9 番 2
3. 敷地面積 m^2
4. 建設工事その他概要 (建物名称, 構造, 階数, 建築面積, 延べ面積, 各階床面積, 等)
 - (1) 工事範囲 ※「(2) 建物概要」すべて ◎「(2) 建物概要」のうち教室棟の一部
 - (2) 建物概要
(全体)

建物名称	管理室及教室棟					
構 造	RC 造 一部 造		造 一部 造		造 一部 造	
階 数	地上 3階	地下 階	地上 階	地下 階	地上 階	地下 階
建築面積	m^2		m^2		m^2	
延べ面積	m^2		m^2		m^2	

(建物毎の各階床面積 m^2)

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計

5. 別途平行工事

(H12. 04. 01 作成)	(H17. 05. 15 改訂)	(H25. 05. 15 改訂)
(H13. 10. 01 改訂)	(H17. 10. 01 改訂)	(H26. 05. 15 改訂)
(H14. 05. 30 改訂)	(H18. 05. 15 改訂)	(H27. 05. 15 改訂)
(H15. 06. 01 改訂)	(H19. 07. 01 改訂)	
(H15. 09. 01 改訂)	(H23. 06. 01 改訂)	
(H16. 05. 15 改訂)	(H24. 06. 01 改訂)	

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下部仕様書等のうち、☐を付けたものを適用する。
- ☐公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
- ・ 建築工事標準詳細図（平成22年版）
 - ・ 建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号に☐のついたものを適用する。
 - 2) 特記事項で※印、◎印、・印のある場合の適用は、下記による。
 - ◎印の付いたものを適用する。
 - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
 - ◎印と☒印の付いた場合は、共に適用する。
 - ・印のついたものは適用しない。
 - 3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図及び当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	1 適用区分	・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・ 風圧力 風速 (V₀) ・ 30 ・ 32 ・ 34 ・ 36 地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・ 積雪荷重 建設省告示第 1455 号における区域 別表 ()
	② 環境への配慮	(1.4.1) (1) 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等）を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。 (2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発生散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発生散建築材料 ④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	③ 材料の品質等	(1.4.2) (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。

章

1

一般共通事項

項目

特記事項

1

(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル、既製調合目地材、錠前類、クローザ類、自動扉機構、自閉式上吊り引き戸機構、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、エポキシ樹脂、ポリマーセメントモルタル

(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたりサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）により、県が定める「特定調達品目」について環境負荷を低減できる材料を選定するよう努めるものとする。
上記の条件を満たすものが市産材で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。なお、市産材とは、「石岡市内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。

4 室内空気中の化学物質の濃度測定

室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンに対しても対象とする。）の濃度を測定し、報告すること。
測定は、厚生労働省が室内空気中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した、ホルムアルデヒドについては、ジニトロフェニルヒドラジン（DNPH）誘導体化固相吸着／溶媒抽出－高速液体クロマトグラフ法により、その他については、固相吸着／溶媒抽出－ガスクロマトグラフ／質量分析法により行い、パッシブサンプラー型採取方法にて採取すること。
測定対象箇所は、平成 15 年 4 月 1 日通知「官庁営繕部における平成 15 年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ、下表の数を標準とする。（指針値は、付記事項の 6 を参照）

室の床面積 A (㎡)	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定箇所数	1	2	3	4

室内空気中の化学物質の濃度測定室箇所表

室名（測定対象室）	床面積	測定箇所数

5

リサイクルの優先順位

(1) 発生抑制の徹底 (2) 再使用の徹底 (3) 再資源化の徹底 (4) 適正処分の徹底
(再資源化に係る作成書類は、付記事項の 5 を参照)

6

発生材の処理等

・発注者に引渡しを要するもの

※なし

・あり

処理方法（

）

・特別管理産業廃棄物

※なし

・あり

処理方法（

）

・現場での再利用を図るもの

※なし

・あり

品 目（

）

7

下請人通知

建設工事請負契約書及び茨城県建設工事適正化指針に基づく下請人通知書を、市と請負契約を締結した日から原則として 30 日以内、その後の下請け契約に係るものは、契約締結の日から 10 日以内に提出するものとする。

章	項 目	特 記 事 項																																								
1 一般共通事項	⑧ 技能士	(1.5.2) <table><tr><th>工事種別</th><th>技能検定作業</th></tr><tr><td>仮設工事</td><td>・ とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋工事</td><td>・ 鉄筋組立作業</td></tr><tr><td>コンクリート工事</td><td>・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>鉄骨工事</td><td>・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業</td></tr><tr><td>コンクリートブロック ・ ALC パネル工事</td><td>・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業</td></tr><tr><td>防水工事</td><td>・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング 防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ FRP 防水工事作業</td></tr><tr><td>石工事</td><td>・ 石張り作業</td></tr><tr><td>タイル工事</td><td>・ タイル張り作業</td></tr><tr><td>木工事</td><td>・ 大工工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい工事</td><td>・ 内外装板金作業 ・ スレート工事作業</td></tr><tr><td>金属工事</td><td>・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業</td></tr><tr><td>左官工事</td><td>・ 左官作業</td></tr><tr><td>建具工事</td><td>・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業</td></tr><tr><td>カーテンウォール工事</td><td>・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業</td></tr><tr><td>塗装工事</td><td>・ 建築塗装作業</td></tr><tr><td>内装工事</td><td>・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ボード 仕上げ工事作業 ・ 壁装作業</td></tr><tr><td>排水工事</td><td>・ 建築配管作業</td></tr><tr><td>舗装工事</td><td>・ 溶融ヘイントハントマーカー工事作業 ・ 加熱ヘイントマシンマーカー工事作業</td></tr><tr><td>植栽工事</td><td>・ 造園工事作業</td></tr></table>	工事種別	技能検定作業	仮設工事	・ とび作業	鉄筋工事	・ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業	コンクリートブロック ・ ALC パネル工事	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業	防水工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング 防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ FRP 防水工事作業	石工事	・ 石張り作業	タイル工事	・ タイル張り作業	木工事	・ 大工工事作業	屋根及びとい工事	・ 内外装板金作業 ・ スレート工事作業	金属工事	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業	左官工事	・ 左官作業	建具工事	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業	塗装工事	・ 建築塗装作業	内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ボード 仕上げ工事作業 ・ 壁装作業	排水工事	・ 建築配管作業	舗装工事	・ 溶融ヘイントハントマーカー工事作業 ・ 加熱ヘイントマシンマーカー工事作業	植栽工事	・ 造園工事作業
	工事種別	技能検定作業																																								
	仮設工事	・ とび作業																																								
	鉄筋工事	・ 鉄筋組立作業																																								
	コンクリート工事	・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業																																								
	鉄骨工事	・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業																																								
	コンクリートブロック ・ ALC パネル工事	・ コンクリートブロック工事作業 ・ エーエルシーパネル工事作業																																								
	防水工事	・ アスファルト防水工事作業 ・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング 防水工事作業 ・ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・ FRP 防水工事作業																																								
	石工事	・ 石張り作業																																								
	タイル工事	・ タイル張り作業																																								
	木工事	・ 大工工事作業																																								
	屋根及びとい工事	・ 内外装板金作業 ・ スレート工事作業																																								
	金属工事	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業																																								
左官工事	・ 左官作業																																									
建具工事	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業																																									
カーテンウォール工事	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業																																									
塗装工事	・ 建築塗装作業																																									
内装工事	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ボード 仕上げ工事作業 ・ 壁装作業																																									
排水工事	・ 建築配管作業																																									
舗装工事	・ 溶融ヘイントハントマーカー工事作業 ・ 加熱ヘイントマシンマーカー工事作業																																									
植栽工事	・ 造園工事作業																																									
⑨ 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 すべての施工図は 7 月 19 日までに監督員の承諾を受ける事																																									
⑩ 設備工事との取合	設備機器の位置取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。																																									
⑪ 完成図等	(1.7.1～3) (表 1.7.1) ※完成図 ※作成する ・ 作成しない 提出するもの ・ 原図 ◎青焼製本 2部 ◎CAD データ サイズ ・ A1 ・ A2 ・ A3 ※CD-R 完成図、金板内訳書、完成写真、申請書類、保証書を収録したもの (詳細は営繕課完成図書 CD 化仕様書による) ・ 維持保全に関する資料 (部数 ※1部)																																									
12 引渡物	※鍵は 1 カ所につき、3 個を 1 組とし、プラスチック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は、1 組 3 個とし、木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																																									
⑬ 設計図書の優先順序	(1) 質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書及び改修標準仕様書																																									

章	項 目	特 記 事 項																				
1 一般共通事項	⑬ 提出書類	※写真 <table><tr><th>適用</th><th>内容</th><th>枚数</th><th>部数</th><th>備考</th></tr><tr><td>※</td><td>工事写真</td><td>適宜</td><td>1</td><td>電子納品</td></tr><tr><td>※</td><td>完成写真（支払用：内外観）</td><td>各 2 枚以上</td><td>1</td><td>A4 台紙(サビズ)</td></tr><tr><td>◎</td><td>完成写真（・データ共）</td><td>適宜</td><td>2</td><td>アルバム(キャビネ)</td></tr></table> 工事写真の電子納品 完成写真（アルバム）の撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影実績のある業者とする) ・規格品証明書（原品証明書，同等品試験証明書，試験成績書等） ・ガス圧接作業員技量資格証明書（写し） ・ガス圧接試験報告書 ・コンクリート強度試験報告書 ・杭打結果報告書 ・溶接工技量証明書（表・裏とも写し） ・防水保証書（9-1. 2. 3. 4は10年） ・コンクリート配合計画書 ◎工事实績情報の登録内容確認書の写し ※火災保険等に参加したことを証明できる書類 ◎建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し ※施工体制台帳の写し ※施工体系図の写し ※産業廃棄物処理関係書類（産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し，産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し，マニフェストの写し等） ・内装材（下地を含む）に VOC 材料を使用した場合は，製品安全データシート（MSDS）及びホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレン，有機リン系の含有率のデータシート ・室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書 ※建設副産物実態調査に関するデータ保存 FD 及び出力調査票 ※その他 監督員が必要と認め，指示した書類及び部数	適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真（支払用：内外観）	各 2 枚以上	1	A4 台紙(サビズ)	◎	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)
	適用	内容	枚数	部数	備考																	
※	工事写真	適宜	1	電子納品																		
※	完成写真（支払用：内外観）	各 2 枚以上	1	A4 台紙(サビズ)																		
◎	完成写真（・データ共）	適宜	2	アルバム(キャビネ)																		
14 埋蔵文化財	※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内	・掘削作業に際しては，工事立会，試掘確認調査等を要する。施工にあたっては，あらかじめ，工事日程，掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上，監督員，施設管理担当，教育庁文化課担当と協議を行うこと。 ・掘削作業に際しては，慎重に施工のこと。施工にあたり，文化財その他の埋蔵物を発見した場合は，直ちにその状況を監督員に報告すること。																				

章	項 目	特 記 事 項
2 仮設工事	1 足場	(2. 2. 4) ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における1の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
	2 監督員事務所	※設ける (2. 3. 1) 規模： m ² 程度 仕上げる程度： 程度 備え付ける備品： ・机 脚 ・椅子 脚 ・ロッカー 台 ・書棚 台 ・ホワイトボード ・製図板 ・掛時計 ・ゴム長靴 ・雨合羽 ・保護帽 ・安全带 ・受託者加入電話の子機 ・消火器 ・湯沸器 ・掃除具 ・その他（ ） ・設けない
	③ 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり（◎利用できる（無償） ※利用できない）
	④ 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり（◎利用できる（無償） ※利用できない）
	⑤ 工事看板	※設置する (2. 3. 1) 設置の場所（◎駐車場入口付近 ） 記載事項（※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ※監理者 ※工期 ※施工者） 大きさ（※900mm×450mm 程度 ・ ） ・設置しない

章	項 目	特 記 事 項											
3 土 工 事	1 埋戻し及び盛土	(3. 2. 3) ・ A種 適用場所 () ※B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 (細粒分 (75μm 以下) の含有率 (重量百分率) の上限を 50%未満とする。) 適用場所 ()											
	2 建設発生土の処理	※構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し 構外搬出の場合は原則として 50km 範囲内の他の建設工事へ搬出するものとする。 ただし、茨城県建設副産物リサイクル推進協議会等で調整済みの場合は、上記に係わらずその調整結果を最優先する。 なお、他の工事との受け入れ時期及び土質等の調整が困難である場合は、別の処分場 (ストックヤードを含む) に搬出することを妨げない。 ※建設発生土の再利用 <table><tr><th>処理方法</th><th>搬出先</th></tr><tr><td>・ 現場内利用</td><td>仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し</td></tr><tr><td>・ 工事間利用</td><td>相手工事名称 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ 捨土 (公共用地)</td><td>管理者名 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ スtockヤード</td><td>ストックヤードの名称 () 住所 ()</td></tr><tr><td>・ 未確定</td><td>相手工事の名称 () (予定) 住所 ()</td></tr></table> 土質 ・ ローム ・ シルト ・ 砂質土 ・ レキ質土 ・ 土量 m3 (地山換算数量) 片道運搬距離 km 条件 (昼夜間の別, 大型車規制, 伝票の使用等) ・ 現場内利用を行場合、現場外に仮置き場を設けて時期調整を行い、周辺環境に配慮し必要な措置を講じる 工事間利用を行う場合、相手工事の受注者と綿密に協議する 工事間利用、捨土の場合、搬出手続き等は監督員の指示による	処理方法	搬出先	・ 現場内利用	仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し	・ 工事間利用	相手工事名称 () 住所 ()	・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()	・ スtockヤード	ストックヤードの名称 () 住所 ()	・ 未確定
処理方法	搬出先												
・ 現場内利用	仮置き場所住所 () 借地 ・ 有り ・ 無し												
・ 工事間利用	相手工事名称 () 住所 ()												
・ 捨土 (公共用地)	管理者名 () 住所 ()												
・ スtockヤード	ストックヤードの名称 () 住所 ()												
・ 未確定	相手工事の名称 () (予定) 住所 ()												

章	項 目	特 記 事 項						
3 土 工 事	3 建設汚泥	※工事現場から 40km 範囲内に再資源化施設があるときは、原則として再資源化施設に搬出するものとする。 なお、工事現場から 40km 以内に再資源化施設がない場合においては、焼却施設、脱水施設や乾燥施設に搬出し減量化を行うものとする。						
		<table><tr><th>処理方法</th><th>搬出先</th></tr><tr><td>・再資源化施設</td><td>施設名称 () 施設住所 ()</td></tr><tr><td>・他工事に搬出 (個別指定制度)</td><td>利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()</td></tr></table>	処理方法	搬出先	・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()	・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()
	処理方法	搬出先						
・再資源化施設	施設名称 () 施設住所 ()							
・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法 () 相手工事 名称 () 住所 () 相手工事受注者 名称 () 住所 () TEL () 処理施設の設置箇所 () 処理施設の処理能力等 ()							
	搬出量 m3 (地山換算数量) 片道運搬距離 km 搬出条件 (昼夜間の別, 改良の度合等) ・ 他工事に搬出する場合、処理施設の設置、個別指定制度の指定を受ける手続きが必要となるため、事前に監督員と十分に協議し、環境部局等に関係法令の手続きを行う							
	4 整 地	跡地はブルドーザー等による整地を行う						

章	項 目	特 記 事 項																																																																																			
4 地業工事	1 支持地盤	・ 杭基礎 (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 5. 4) (4. 5. 5) 支持地盤の位置及び種類（基礎杭の先端の位置含む） ・ 図示 ・ ・ 直接基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎底部の位置含む） ・ 図示 ・ 試験掘り（根切り底の状態の確認等） ・ 行う ・ 行わない 位置等 ・ 図示 ・ ・ 地盤の載荷試験 (4. 2. 4) 試験位置, 方法等 ・ 図示 ・																																																																																			
	2 液状化対策	・ 行う（工法, 施工範囲, 仕様及び計測, 試験等は図示による。） ・ 行わない																																																																																			
	3 既製コンクリート杭地業	種類等 (4. 3. 2) ・ 遠心力高強度プレストレスコンクリート杭（PHC 杭） ・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC 杭） ・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC 杭） SC 杭の鋼管材料 ・ SKK400 ・ SKK490 ・ 材料 寸法, 継手, 性能等 (4. 2. 2) (4. 3. 2) (4. 3. 3) <table><thead><tr><th colspan="2"></th><th>種類</th><th>コンクリート強度 (N/mm2)</th><th>杭径 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>杭長 (m)</th><th>継手数</th><th>セツト数</th><th>長期設計 支持力 (kN/本)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 試験杭 (4. 2. 2) (4. 3. 4) 試験杭の位置 ・ 構造図による ・ 杭先端部形状 (4. 3. 2) ・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 ・			種類	コンクリート強度 (N/mm2)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭										中杭										下杭										本杭	上杭										中杭										下杭																			
		種類	コンクリート強度 (N/mm2)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考																																																																											
試験杭	上杭																																																																																				
	中杭																																																																																				
	下杭																																																																																				
本杭	上杭																																																																																				
	中杭																																																																																				
	下杭																																																																																				

章	項 目	特 記 事 項
4 地業工事		施工方法 (4.3.3~4.3.5) ・セメントミルク工法 (4.3.4) - アースオーガーの支持地盤への掘削深さ ・1.5m 程度 - 杭の支持地盤への根入れ深さ ・1.0m 以上 - 杭の精度 ・水平方向への位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・杭の傾斜 ・1/100 以内 ・特定埋込杭工法 (4.3.5) ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の内 α, β, γ が下記の値を採用できる工法 $\alpha=(\quad), \quad \beta=(\quad), \quad \gamma=(\quad)$ 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ 杭周固定液 ・使用する ・使用しない 杭の精度 (4.3.5) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・杭の傾斜 ・1/100 以内 ・評価条件又は認定条件による ・ 杭継手工法 (4.3.6) ・アーク溶接継手 ・標準仕様書 4.3.6 による 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(a)(b)による ・図示 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評価又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評価又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評価又は大臣認定)された施工管理基準による ・ 杭頭の処理(切断方法) (4.3.7) ※処理しない ・処理する - 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示 杭頭の中詰め材料 ※基礎のコンクリートと同調合のもの ・

章	項 目	特 記 事 項																																																																										
4 地業工事	4 鋼杭地業	材料 寸法, 継手等 (4. 2. 2) (4. 4. 2)																																																																										
		<table><tr><th colspan="2"></th><th>種類</th><th>杭径 (mm)</th><th>板厚 (mm)</th><th>杭長 (m)</th><th>継手数</th><th>セット数</th><th>長期設計 支持力 (kN/本)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 杭先端部形状 (4. 4. 2) ・開放型 ・半開放形 ・閉そく形 ・ 先端部の補強 ・標準仕様書 図 4. 4. 1, 表 4. 4. 2 による ・ 先端部の補強(補強バンド等) 及びその他付属品の材質 ・SS400 と同等又はそれ以上 ・ 施工方法 ・特定埋込杭工法 (4. 4. 4) ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式で $\alpha=250$ を採用できる工法 ・H13 国土交通省告示第 1113 号第 6 による地盤の許容支持力式の内 α , β , γ が下記の値を採用できる工法 $\alpha=(\hspace{1cm})$, $\beta=(\hspace{1cm})$, $\gamma=(\hspace{1cm})$ 工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ 杭の精度 (4. 3. 5) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の 1/4 かつ 100mm 以下 ・ ・杭の傾斜 ・1/100 以内 ・評定条件又は認定条件による ・ 試験杭 試験杭の位置 ・構造図による ・			種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭									中杭									下杭									本杭	上杭									中杭									下杭																
		種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計 支持力 (kN/本)	備考																																																																			
試験杭	上杭																																																																											
	中杭																																																																											
	下杭																																																																											
本杭	上杭																																																																											
	中杭																																																																											
	下杭																																																																											

章	項 目	特 記 事 項
4 地業工事	4 鋼杭地業	杭の現場継手 (4. 4. 5) ・ 溶接継手 形状 ・ JIS A 5525 による - 溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5 (a) (b) による ・ 図示 ・ ・ 無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) - 工法 ※審査 (評定又は大臣認定) を受けた工法 - 検査 ※審査 (評定又は大臣認定) により定められた項目 - 施工 ※審査 (評定又は大臣認定) された施工管理基準による 杭頭の処理 (4. 3. 7) (4. 4. 6) ・ 処理しない ・ 処理する - 処理方法 (切断に伴う補強方法含む) ・ 構造図による 杭頭の中詰め材料 ※基礎のコンクリートと同調合のもの

章	項 目	特 記 事 項																																											
4 地業工事	5 場所打ち コンクリート杭地業	掘削工法 (4. 5. 1) (4. 5. 4) (4. 5. 5) ・アースドリル工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4. 5. 1) (4. 5. 5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) 寸法等 (4. 2. 2) <table><tr><td></td><td>軸径 (mm)</td><td>拡底径 (mm)</td><td>杭長 (m)</td><td>セト 数</td><td>長期設計支持力 (kN/本)</td><td>備考</td></tr><tr><td>試験杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>本杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 鉄筋の種類 (4. 5. 3) <table><tr><td>種類の記号</td><td>呼び径 (mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td>・SD295A</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 帯筋 (4. 5. 3) ・構造関係共通図(配筋標準図) 6. 2 帯筋 (a) ④丸形(口)による ・図示 鉄筋かごの補強 (4. 5. 3) ・杭径 1. 5m 以下の場合は鋼板 6×50 (mm), 1. 5m を超える場合は鋼板 9×50~75 (mm) の補強リングを 3m 以下の間隔で, かつ, 1 節につき 3 箇所以上入れ, リングと組立用の鉄筋との接合部を溶接する。 ・ 鉄筋の最小かぶり厚さ (4. 5. 3) ・100mm ・ 鉄筋の重ね継手長さ, 主筋の基礎底盤への定着長さ (4. 5. 3) ・図示 ・ セメントの種類 (4. 5. 3) ※高炉セメントB種 ・ コンクリートの種別 (4. 5. 3) (表 4. 5. 1) ・A種 ・B種 コンクリートの設計基準強度()N/mm2 (4. 5. 3) ・図示 構造体強度補正 (4. 5. 3) ・3N/mm2 ・図示 ・評定条件又は認定条件による 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 試験杭 (4. 2. 2) (4. 5. 4) (4. 5. 5) ・試験杭の位置, 本数及び寸法 ・図示 ・ 孔壁測定 (4. 5. 4) (4. 5. 5) ・行わない ・行う 測定方法 ・超音波測定器 ・ 測定箇所数及び測定位置 ・試験杭()箇所及び本杭()箇所とし, 位置は構造図による		軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セト 数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭						本杭																		種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295A			・SD345					
			軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セト 数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																					
		試験杭																																											
		本杭																																											
		種類の記号	呼び径 (mm)	備考																																									
		・SD295A																																											
		・SD345																																											

章	項 目	特 記 事 項						
4 地業工事	5 場所打ち コンクリート杭地業	杭の精度 (4. 5. 4) (4. 5. 5) 水平方向の位置ずれ ・ 100mm 以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100 以内 ・ 評価条件又は認定条件による ・						
	6 砂利地業	材料（茨城県の指定工場であること） (4. 6. 3) ※再生クラッシャラン ・ 切込み砂利及び切込み碎石 厚さ及び適用範囲 <table><tr><th>厚さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ 60</td><td>・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ 下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table>	厚さ	適用箇所	・ 60	・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ 下	・	
	厚さ	適用箇所						
	・ 60	・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土間コンクリート下 ・ 土に接するスラブ 下						
	・							
7 捨コンクリート地業	厚さ及び施工範囲 (4. 6. 4) (6. 14. 1) <table><tr><th>厚さ</th><th>施工範囲</th></tr><tr><td>・ 50</td><td>・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ 下</td></tr><tr><td>・</td><td></td></tr></table> 設計基準強度 (4. 6. 4) (6. 14. 1) ※18N/mm2 ・ スランプ (4. 6. 4) (6. 14. 1) ・ 15cm 又は 18cm ・	厚さ	施工範囲	・ 50	・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ 下	・		
厚さ	施工範囲							
・ 50	・ 基礎スラブ 下 ・ 基礎梁下 ・ 土に接するスラブ 下							
・								
8 床下防湿層	施工範囲 (4. 6. 5) ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・ 防湿工法 (4. 6. 5) ・ ポリエチレンフィルム厚さ 0. 15mm 以上 ・ 防湿層の位置 (4. 6. 5) ・ 図示 ・							
9 地盤改良 (セメント系固化材を用 いた工法による改良)	工法 ・ 浅層混合処理工法 改良範囲，仕様（計測，試験等含む。）は図示による ・ 深層混合処理工法 改良範囲，仕様（計測，試験等含む。）は図示による							
10 置換コンクリート地業 (ラップコンクリート地業)	形状等 ・ 図示 ・ 支持地盤の長期設計支持力 () kN/m2 支持地盤 ・ 図示 ・ 型枠使用の有無 ・ 無し ・ 有り 型枠の使用箇所等は図示による							

章	項 目	特 記 事 項				
鉄筋工事	5 ① 鉄筋	(5.2.1) (表 5.2.1)				
		規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所	備考
		鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	◎SD295A	※D16 以下	スラブ	
			・SD345	※D19 以上		
			・			
			・			
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2)				
		種類	種類の記号	網目の形状, 寸法, 鉄線の径 (mm)	適用箇所	
		・溶接金網				
		・鉄筋格子				
3 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.9) ※行う (全数) 抜取試験 (5.4.9) ※超音波探傷試験 試験の箇所数等 試験の箇所数は, 1 ロットに対して 30 箇所とする 試験ロット: 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とし, 無作為に抜き取る。 ・引張試験 試験片の採取数は, 1 ロットに対して (※3 本 ・5 本) とする 試験ロット: 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお, 200 箇所を超えるときは 200 箇所ごととする 試験片を採取した箇所の処置: 標準仕様書 5.4.9 による					
④ 鉄筋の継手	継手方法 (5.3.4) (5.5.2)					
	適用箇所	継手方法と適用径の範囲				
	・柱主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)				
	・梁主筋	・ガス圧接継手 (D19 以上)				
	・耐力壁	・重ね継手				
	・基礎スラブ, 耐圧スラブ, 土圧壁など◎スラブ	・ガス圧接継手 ()				
		◎重ね継手 ()				
	・杭主筋	・重ね継手				
5 主筋の継手位置等	カットオフ鉄筋の長さ (5.3.4) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1, 6.1, 7.1, 7.3 による (・全て ・下記以外全て) ・上記以外の位置 ・図示 基礎梁主筋の継手 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図 5.2 による (・全て ・図示) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図 5.3 による (・全て ・図示) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 図 5.4 による (・全て ・図示) ・図示					
6 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算定を行う) (5.3.5) ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1 による ・図示 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さ ・最小かぶり厚さ () mm 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分 (耐久性上不利な部分) ・無し ・有り 適用箇所 () ・構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1 に加える厚さ () mm					

章	項 目	特 記 事 項
5 鉄筋工事	7 機械式継手	使用箇所 (5. 5. 2) ・図示 ・ 性能(H12 告示第 1463 号に適合するもの) (5. 5. 2) ・A 級 ・ 種類及び工法 ((5. 5. 2) カブラー等の接合部分の相互のあき, 最小かぶり厚さ (5. 3. 5) ・図示 ・ 品質の確認方法, 不良となった継手の修正方法等 (5. 5. 2) ・図示 ・
	8 溶接継手	使用箇所 (5. 5. 2) ・図示 ・ 性能(H12 告示第 1463 号に適合するもの) (5. 5. 2) ・A 級 ・ 鉄筋相互のあき (5. 3. 5) ・図示 ・ 継手の工法 (5. 5. 3) ・図示 ・ 品質の確認方法, 不良となった継手の修正方法等 (5. 5. 3) ・図示 ・
	9 各部配筋	・構造関係共通図 (配筋標準図) による。 (5. 3. 7) ・図示 ・
	10 帯筋	組立の形の種別 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 6. 2 (形) による ・図示 ・
	11 壁開口部の補強	一般壁 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 8. 4 (形) による ・図示 ・ ・ 耐震壁 ・図示 ・ ・
	12 梁貫通孔の補強	補強形式 ・構造関係共通図 (配筋標準図) 11. 2 (形) による ・図示 ・ 梁貫通孔径 (部材記号含む) 及び配筋種別リスト ・図示 ・

章	項 目	特 記 事 項			
6 コンクリート工事	① コンクリートの種類及び強度	※普通コンクリート (6.2.1~4)			
		設計基準強度 Fc (N/mm2)	気乾単位 容積質量 (t/m3)	スランプ (cm)	適用箇所
		※24	2.3 程度	15 又は 18	床 便器撤去部
				18	
		・ 18	2.3 程度	15 又は 18	
				18	
	2 コンクリートの類別	類別 (6.2.1) (表 6.2.1) ※Ⅰ類(茨城県の指定工場であること) ・Ⅱ類			
	③ セメント	(6.3.1) (表 6.3.1)			
		セメントの種類		適用箇所	
		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種		下記以外全て	
		・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		・ 1FL より下部 (立ち上がり部含む) ・	
	普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。		水和熱	7 日	352J/g 以下
			28 日	402J/g 以下	
4 骨材	使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m3 以下)				
5 混和材料	(6.3.1) ・ 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1 (d) (i) による ・ ・ 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1 (d) (ii) による ・				
6 構造体コンクリート強度の推定試験	普通ポルトランドセメント以外のセメントを使用し、標準仕様書 6.9.5 (a) (2) の判定による場合は、現場封かん養生供試体の材齢 28 日の圧縮強度試験も実施すること。				
7 無筋コンクリート	設計基準強度 ※18 (N/mm2) スランプ ※15cm 又は 18cm 適用箇所 ※標準仕様書 6.14.1 (e) による箇所 ・ 図示				
8 ひび割れ誘発目地、打ち継ぎ目地	(6.6.3) (6.8.2) (9.7.3) 目地寸法 ・ 標準仕様書 9.7.3 による ・ ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する 間隔・位置・形状 (6.8.2) ・ 図示				

章	項 目	特 記 事 項								
6 コンクリート工事	9 コンクリートの 仕上がり	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5) (6. 6. 6) (6. 8. 3) (表 6. 2. 4) <table><tr><td>種別</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ A 種</td><td></td></tr><tr><td>・ B 種</td><td></td></tr><tr><td>・ C 種</td><td></td></tr></table>	種別	適用箇所	・ A 種		・ B 種		・ C 種	
	種別	適用箇所								
	・ A 種									
	・ B 種									
	・ C 種									
10 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	打増し厚さ									

章	項 目	特 記 事 項
6 コンクリート工事	14 コンクリートの単位水量測定	・行わない ・行う 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m ³ に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書 6.2.4(1)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調合書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³ の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15 を超え±20kg/m³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m³ を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m³ 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験期間は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

章	項 目	特 記 事 項												
7 鉄骨工事	1 鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 (7.1.3) ・建築基準法 77 条の 45 第 1 項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構 (旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「() グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督員の承諾する製作工場(標準仕様書 7.7.1 以外の適用範囲に限る)												
	2 施工管理技術者	※適用する (7.1.3) (7.1.4) (7.6.2) (7.12.2) ・適用しない												
	3 製作精度	※標準仕様書 7.3.3 及び H12 建告第 1464 号第二号イによる (7.3.3) H12 建告第 1464 号第二号イ (1) (2) のただし書きによる補強は、「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による												
	4 建方精度	※JASS 6 付則 6〔鉄骨精度基準〕付表 5〔工事現場〕による (7.10.2)												
	5 鋼材	鋼材の材質 (7.2.1) (表 7.2.1) <table><tr><th>種類の記号</th><th>適用箇所</th><th>規格等</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS 規格による</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS 規格による</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※JIS 規格による</td></tr></table> 有効細長比(圧縮材に限る) ・図示 ・	種類の記号	適用箇所	規格等			※JIS 規格による			※JIS 規格による			※JIS 規格による
	種類の記号	適用箇所	規格等											
			※JIS 規格による											
			※JIS 規格による											
		※JIS 規格による												
6 高力ボルト	区分 (7.2.2) ※トルシア形高力ボルト 2 種(S10T) ・ JIS 形高力ボルト 2 種(F10T) 高力ボルトの径 (7.2.2) ※図示 ・ ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 (7.3.2) ・図示(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔による) すべり係数試験 (7.4.2) ※行わない ・													
7 普通ボルト	ボルト及びナットの材料 (7.2.3) ・標準仕様書 表 7.2.3 による 座金 (7.2.3) ・標準仕様書 7.2.3(d)による ボルトの径 (7.2.3) ・図示 ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 (7.3.2) ・図示(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔による)													
8 溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 (7.2.2) ・ 1 種(F8T 相当) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.2) ・図示 ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 (7.3.2) ・図示(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔による) 摩擦面の処理 (7.12.4) ※ブラスト処理(表面粗度 50μmRz 以上) 摩擦面の確認方法 ・図示 ・試験片によるすべり耐力試験													

章	項 目	特 記 事 項																						
7 鉄骨工事	9 アンカーボルト	(7. 2. 4) (表 7. 2. 3) (7. 10. 3) 適用 ・ 構造用アンカーボルト セットの種類(JIS B 1220) ・ ABR400 ・ ABR490 形状, 寸法 ・ 図示 ・ ・ 建方用アンカーボルト 種類 ・ SS400 ・ アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格, ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表 7. 2. 3 による ・ 形状, 寸法 ・ 図示 ・ 保持及び埋込み工法 (7. 10. 3) (表 7. 10. 1) ・ 構造用 ※図示 ・ ・ 建方用 ・ 標準仕様書 7. 10. 1 (・ A 種 ※B 種 ・ C 種) による ・																						
	10 柱底均しモルタル	(7. 2. 9) モルタルの種類 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合 材料, 調合等 ※標準仕様書 7. 2. 9 による ・ ・ 標準仕様書 7. 2. 9(a)によるモルタル																						
	11 溶接材料	溶接材料 ・ 標準仕様書 7. 2. 5(a) (b) による ・ 標準仕様書 7. 2. 5(a) (b) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 ・																						
	12 ターンバックル	(7. 2. 6) 種類 建築用ターンバックル胴 ・ 割枠式 ・ 建築用ターンバックルボルト ・ 羽子板ボルト ・ ねじの呼び (7. 2. 6) ・ 図示 ・																						
	13 デッキプレート	材質, 形状及び寸法 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>適用箇所</th><th>材質・形状・寸法</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ デッキプレート単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 床型枠用</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・ 図示 ・ 鉄骨部材への溶接方法 ・ 図示 ・ 耐火認定 ・ 有り 耐火時間 ・ 図示 ・ ・ 無し					適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・ デッキプレート単独の構法				・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法				・ 床型枠用						
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																					
・ デッキプレート単独の構法																								
・ デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																								
・ 床型枠用																								

章	項 目	特 記 事 項												
7 鉄骨工事	14 スタッド	材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド JIS B 1198 ・ 種類等 <table><tr><td>径（呼び名）</td><td>長さ（呼び長さ）mm</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>16φ</td><td>・ 80 ・ 100 ・ 120</td><td></td></tr><tr><td>19φ</td><td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td><td></td></tr><tr><td>22φ</td><td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td><td></td></tr></table>	径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	適用箇所	16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120		19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150		22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150	
	径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	適用箇所											
	16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120												
	19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150												
	22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150												
15 入熱、パス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・ 図示 ・ ・ 構造関係共通図（鉄骨標準図）（5(7)鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件）による ・ 適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部													
16 溶接接合	開先の形状 (7. 6. 4) ・ 図示 ・ スカラップの形状 (7. 6. 7) ・ 図示 ・ エンドタブの切除する部分 (7. 6. 7) ・ 全て ・ 切除する部分なし ・ 図示 ・ 溶接部分の余盛り高さ (7. 6. 7) ・ JASS6 付則 6「鉄骨精度検査基準」付表 3「溶接」による													
17 現場溶接の有無	・ 無し ・ 有り													
18 溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7. 6. 11) ・ 行わない ※行う ・ 工場溶接の場合 AOQL (%) ・ 4. 0 ・ 2. 5 <table><tr><td>節</td><td>・ 全て</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>検査水準</td><td>・ 第 6 水準</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr></table> ・ 工事現場溶接の場合 AOQL (%) ・ 4. 0 ・ 2. 5	節	・ 全て	・	・	・	検査水準	・ 第 6 水準	・	・	・			
節	・ 全て	・	・	・										
検査水準	・ 第 6 水準	・	・	・										
19 錆止め塗装	塗料の種類別 (7. 8. 3) (18. 3. 2) ・ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ※標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 1 A 種 ・ 屋内 ※標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 1 () 種 ・ ・ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ※標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 2 () 種 ・ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ※標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 1 A 種 ・ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ・ 行わない ・ 行う 適用箇所 ・ 図示 ・ 塗料の種類別 ・ 標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 1 () 種 ・ 標準仕様書 18. 3. 2 表 18. 3. 2 () 種													

章	項 目	特 記 事 項		
7 鉄骨工事	20 耐火被覆	種類等 (7.9.2～7)		
		種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)
		・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックール	
			・ 半乾式吹付けロックール	
			・ 湿式ロックール	
			・	
			・	
		・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板	
			・	
		・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックール	
		・ ラス張りモルタル塗り		
		材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。		
		性能		
	性能	適用箇所(部位・部分)		
	・ 30 分耐火			
	・ 1 時間耐火			
	・ 2 時間耐火			
	・ 3 時間耐火			
21 溶融亜鉛めっき (基礎、主要構造部及び その他構造耐力上主 要な部分に限る。)	種別等 (7.12.3) (表 14.2.2)			
	溶融亜鉛めっき の種類	材料	適用箇所	
	A 種(HDZ55)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼, 鋼板	※図示 ・	
	B 種(HDZ45)	最小板厚 3.2mm 以上, 6.0mm 未満の形鋼, 鋼板		
	C 種(HDZ35)	普通ボルト・ナット類, アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上, 3.2mm 未満の形鋼, 鋼板		
	外観検査 ・行う ・行わない			
メッキ付着量の検査 ・行う ・行わない				
22 梁貫通孔の補強	補強方法 ※図示 ・ ・			
	適用箇所 ※図示			

8

コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1

補強コンクリート
ブロック造

ブロックの種類

(8.2.2, 5)

断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	適用箇所	備考
		長さ	高さ			
※空洞ブロック-16				・無 ・有		
・型枠状ブロック-20				・無 ・有		
・				・無 ・有		

各部の配筋 ※図示

2

コンクリートブロック
塀壁及び塀

ブロックの種類

(8.3.2, 3)

断面形状及び 圧縮強さ による区分	正味 厚さ (mm)	モジュール呼び寸法 (mm)		化粧の 有無	(表 8.3.1) 以外の 適用箇所	備考
		長さ	高さ			
・空洞ブロック-08				・無 ・有		
・空洞ブロック-16				・無 ・有		
・				・無 ・有		
・				・無 ・有		

各部の配筋 ※図示

3

ALCパネル

(8.4.2～5)

パールの種類	単位荷重 (N/m ²)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	表面加工	工法の種別
・外壁パール		・100 ・		有(1)時間	・平 ・意匠	・A種 ・B種
・間仕切壁 パール		・100 ・		・有(1)時間 ・無	・平 ・意匠	・C種 ・D種 ・E種
・屋根パール		・100 ・		有(0.5)時間	平	F種
・床パール		・100 ・		・有()時間		

外壁パネルの工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍
の風圧力に対応した工法）

・適用しない

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の
目地幅 ※20 ・

伸縮目地への耐火目地材の充てん ・適用する ・適用しない

章	項 目	特 記 事 項																																							
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	4 押出成形セメント板	(8.5.2～5)																																							
		<table><tr><th>パ ネルの種類</th><th>表面形状</th><th>厚さ (mm)</th><th>幅 (mm)</th><th>工法の種別</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">・ 外壁パ ネル</td><td>・ F (フラットパ ネル)</td><td>・ 50 ・ 60 ・</td><td></td><td rowspan="3">・ A 種 ・ B 種</td><td></td></tr><tr><td>・ D (デ ザ インパ ネル)</td><td>・ 50 ・ 60</td><td>600</td><td></td></tr><tr><td>・ T (タイルベ ースパ ネル)</td><td>60</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・ 間仕切壁パ ネル</td><td>・ F (フラットパ ネル)</td><td>・ 50 ・ 60 ・</td><td></td><td rowspan="3">・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>・ D (デ ザ インパ ネル)</td><td>・ 50 ・ 60</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ T (タイルベ ースパ ネル)</td><td>60</td><td></td><td></td></tr></table>						パ ネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考	・ 外壁パ ネル	・ F (フラットパ ネル)	・ 50 ・ 60 ・		・ A 種 ・ B 種		・ D (デ ザ インパ ネル)	・ 50 ・ 60	600		・ T (タイルベ ースパ ネル)	60			・ 間仕切壁パ ネル	・ F (フラットパ ネル)	・ 50 ・ 60 ・		・ B 種 ・ C 種		・ D (デ ザ インパ ネル)	・ 50 ・ 60			・ T (タイルベ ースパ ネル)	60		
		パ ネルの種類	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考																																		
		・ 外壁パ ネル	・ F (フラットパ ネル)	・ 50 ・ 60 ・		・ A 種 ・ B 種																																			
			・ D (デ ザ インパ ネル)	・ 50 ・ 60	600																																				
			・ T (タイルベ ースパ ネル)	60																																					
		・ 間仕切壁パ ネル	・ F (フラットパ ネル)	・ 50 ・ 60 ・		・ B 種 ・ C 種																																			
			・ D (デ ザ インパ ネル)	・ 50 ・ 60																																					
			・ T (タイルベ ースパ ネル)	60																																					
		外壁パネルの工法																																							
		建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法																																							
		※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）																																							
		・ 適用しない																																							
		パネル相互の目地幅 (mm) ・ 図示																																							
		出隅及び入隅のパネル接合部の目地幅 (mm) ※15 ・																																							
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。																																									
<table><tr><td></td><td></td><td colspan="2">開口の大きさ</td><td colspan="2">切断後のパネルの残り部分の幅</td></tr><tr><td rowspan="2">パネルに開口を設ける場合</td><td>短辺</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>長辺</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td rowspan="2">パネルを切り欠く場合</td><td>短辺</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td>長辺</td><td>・</td><td>・ 図示</td><td>・</td><td>・ 図示</td></tr></table>								開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅		パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示								
		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅																																					
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示																																				
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示																																				
パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示																																				
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示																																				

章	項 目	特 記 事 項				
9 防水工事	1 アスファルト防水	(9.2.2～5) (表9.2.3～9)				
	屋根保護防水 防水層の種類					
	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	
	・A-1			※ホ°リスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	・乾式保護材 ・コンクリート押え	
	・A-2					
	・A-3					
	・B-1					
	・B-2					
	・B-3					
	・AI-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種ホ°リスチレンフォーム保温材の保温板 3 種 b(スキンあり) ・ (厚さ)・25mm ・50mm ・	※フラットヤーンクロス 70g/m2 程度 ・		
	・AI-2					
	・AI-3					
	・BI-1					
	・BI-2					
	・BI-3					
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9.2.3 から標準仕様書表 9.2.8 による ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9.2.3 から標準仕様書表 9.2.8 による ・ 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm 以上 床タイル貼り ※水下 60mm 以上 ・乾式保護材 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成型しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を一体化したもの。					
	屋根露出防水 防水層の種類					
種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率 防水の適用	
			種類	使用量		
・D-1			・製造所の指定による	・製造所の指定による	・	
・D-2					・	
・D-3					・	
・D-4					・	
・DI-1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ)・25mm ・			・	
・DI-2					・	
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ・						
防水層の種類						
種別	施工箇所		種別	施工箇所		
・E-1			・E-2			
保護層 ・設ける (※図示 ・) ・設けない						

章	項 目	特 記 事 項																																				
9 防水工事	1 アスファルト防水	防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ ※標準仕様書表表 6. 2. 4[打放し仕上げ種別]の B 種 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm 程度 防水層の下地のモルタル塗り ・適用する（施工範囲 ・図示 ・ ） ・適用しない 屋根排水溝 ※図示 ・																																				
	2 改質アスファルトシート防水	防水層の種別 (9. 3. 2, 3) (表 9. 3. 1～3) <table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材</th><th>防湿層</th><th>高日射反射率 防水の適用</th></tr><tr><td>・ AS-T1</td><td></td><td rowspan="6"></td><td rowspan="6"></td><td>・</td></tr><tr><td>・ AS-T2</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ AS-J3</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ AS-T3</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ AS-T4</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ AS-J2</td><td></td><td>・</td></tr><tr><td>・ ASI-T1</td><td></td><td rowspan="2">(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・</td><td rowspan="2">・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない</td><td>・</td></tr><tr><td>・ ASI-J1</td><td></td><td>・</td></tr></table> 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 3. 1 から表 9. 3. 3 による ・ 押え金物 ※改質アスファルト製造所の仕様による ・					種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用	・ AS-T1				・	・ AS-T2		・	・ AS-J3		・	・ AS-T3		・	・ AS-T4		・	・ AS-J2		・	・ ASI-T1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない	・	・ ASI-J1	
種別	施工箇所	断熱材	防湿層	高日射反射率 防水の適用																																		
・ AS-T1				・																																		
・ AS-T2				・																																		
・ AS-J3				・																																		
・ AS-T3				・																																		
・ AS-T4				・																																		
・ AS-J2				・																																		
・ ASI-T1		(材質)※JIS A 9511 による A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ 設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・ 設けない	・																																		
・ ASI-J1				・																																		

章	項 目	特 記 事 項					
9 防水工事	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～4) (表 9. 4. 1, 2)					
		種別	施工箇所	絶縁シートの材質	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用
		・ S-F1				・ カラー ・ シルバー	・
		・ S-F2					・
		・ S-M1				・ カラー ・ シルバー	・
		・ S-M2					・
		・ S-M3					・
		・ SI-F1			(材質)※A 種ポリエチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ カラー ・ シルバー	・
		・ SI-F2					・
		・ SI-M1			(材質)※A 種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 2 種 1 号又は 2 号で透湿係数を除く規定に適合するもの又は A 種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ (厚さ) ・ 25mm ・	・ カラー ・ シルバー	・
		・ SI-M2		※発泡ポリエチレンシート ・			・
		ルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表 9. 4. 1 から表 9. 4. 2 による 防水下地が PC コンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 ※図示 入隅部の増張り (S-F1, SI-F1 の場合) ※図示 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない					
4 塗膜防水	(表 9. 5. 3) (表 9. 5. 1, 2)						
	防水層の種類別						
	種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水の適用		
	・ X-1		・ カラー ・ シルバー		・		
	・ X-2		・ カラー ・ シルバー		・		
	・ Y-1	※地下外壁防水					
	・ Y-2	※屋内防水		・ 適用する ・ 適用しない			
5 ケイ酸質系塗布防水	(表 9. 6. 1, 3) (表 9. 6. 1, 2)						
	防水層の種類別						
	種別	施工箇所	種別	施工箇所			
	※C-UI		・ C-UP				

章	項 目	特 記 事 項		
9 防水工事	6 脱気装置	(9. 2. 3) (9. 3. 3) (9. 5. 3)		
		種別	種類	設置数量
		D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J2 ASI-T1 ASI-J1	※アスファルト・フィング 類製造所の仕様による ・	※アスファルト・フィング 類製造所の仕様による ・ 個／㎡
		X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・ 個／㎡
	⑦ シーリング	(9. 6. 2) (表 9. 6. 1)		
		下記以外は、標準仕様書表 9. 7. 1 による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは 11 章に、カーテンウォールの場合のシーリングは 17 章による		
		施工箇所	シーリング材の種類（記号）	
		床、ブース間		
		シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書 9. 7. 3(a) (1)～(3)による ・		

章	項 目	特 記 事 項																																																																	
10 石 工 事	1 施工	(10. 1. 3, 5) 石材の割付け ※標準仕様書 10. 1. 3(a) (1), (2)による ・図示 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ ・図示 ・ 屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ ・行う(適用場所 ・すべて ・) ・行わない																																																																	
	2 石材等	天然石 (10. 2. 1, 3) (表 10. 2. 1, 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>品質</th><th>石材の種類</th><th>形状</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面仕上げ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>・ 1 等品 ・ 2 等品</td><td></td><td>※正方形に近い矩形 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ 1 等品 ・ 2 等品</td><td></td><td>※正方形に近い矩形 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> テラゾブロック <table><tr><th>施工箇所</th><th>種石の種類</th><th>種石の大きさ (mm)</th><th>形状</th><th>仕上げ面</th><th>寸法 (mm)</th><th>表面仕上げ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・ 花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・ 平もの ・ 役もの</td><td>・ 片面 ・ 両面</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・ 花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・ 平もの ・ 役もの</td><td>・ 片面 ・ 両面</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> テラゾタイル <table><tr><th>施工箇所</th><th>種石の種類</th><th>種石の大きさ (mm)</th><th>寸法による区分</th><th>表面仕上げ</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・ 花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・ 300 型 ・ 400 型</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>※大理石 ・ 花こう岩</td><td>※1. 5～12 ・</td><td>・ 300 型 ・ 400 型</td><td></td><td></td></tr></table> 取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材 ※石材施工業者の指定する製品 ・	施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考		・ 1 等品 ・ 2 等品		※正方形に近い矩形 ・						・ 1 等品 ・ 2 等品		※正方形に近い矩形 ・					施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考		※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面					※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面				施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型				※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型	
施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ	備考																																																												
	・ 1 等品 ・ 2 等品		※正方形に近い矩形 ・																																																																
	・ 1 等品 ・ 2 等品		※正方形に近い矩形 ・																																																																
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状	仕上げ面	寸法 (mm)	表面仕上げ	備考																																																												
	※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面																																																															
	※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 平もの ・ 役もの	・ 片面 ・ 両面																																																															
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																														
	※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型																																																																
	※大理石 ・ 花こう岩	※1. 5～12 ・	・ 300 型 ・ 400 型																																																																
3 外壁湿式工法	(10. 2. 2, 3) (10. 3. 2, 3) 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋横流し工法 受金物 材質 ※SS400 ・ 形状及び寸法 ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=100mm ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=150mm ・ ドレインパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ・ アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6 以上 ・ シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m ごと ・図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書 9. 7. 3(a) (3)による ・図示																																																																		

章	項 目	特 記 事 項
10 石 工 事	4 内壁空積工法	(10.2.2, 3) (10.3.2, 3) 受金物 材質 ※SS400 ・ 形状及び寸法 ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=100mm ・L-75×75×6 (mm) の加工 L=150mm ・ 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー, 横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法 アンカーの材質及び径 ※SS400 M12 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6 以上 ・ シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m ごと ・図示 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書 9.7.3(a) (3) による ・図示
	5 乾式工法	(10.2.2) (10.5.2, 3) (表 10.2.4) 取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない だぼ用の穴の位置 ※標準仕様書 10.5.2(b) (1) による ・図示 外壁の工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍 の風圧力に対応した工法) ・適用しない アンカーの材質及び形状 ※ステンレス (SUS304) M10 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 目地幅 (mm) ※8 以上 ・ シーリング材 ・適用する (※標準仕様書 9 章 7 節による ・図示) ・適用しない
	6 床及び階段の石張り	(10.6.2, 3) 床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅 (mm) ・図示 ・ シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積 30m ² 程度ごと, 細長い通路の場合 6m 程度 ごと及び他部材との取り合い部 ・図示
	7 アーチ, 上げ裏等の石張り	(10.2.2) (10.7.1, 2) 取付け工法 ・外壁湿式工法 ・内壁空積工法 ・乾式工法 取付け金物 ・※標準仕様書 10.2.2(c) による ・ 引金物, だぼ, かすがい及び受金物 標準仕様書 10.2.2(a) による ・ 吊金物及び化粧吊りボルト ・設ける 吊金物 ※ステンレス (SUS304) 径 6mm 長さ 80mm (加工物) ・ 吊りボルト ※ステンレス (SUS304) M10 化粧ナット付き ・ ・設けない 石裏面処理 ・適用する ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない アンカーの材質及び径 ・SS400 M12 ・ステンレス (SUS304) M10 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 () 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6 以上 ・ 伸縮調整目地 位置 ※他部材との取り合い部 ・図示

章	項 目	特 記 事 項
10 石 工 事	8 笠木, 甲板等の石張り	(10. 2. 2) (10. 7. 1, 3) 取付け工法 ・ 外壁湿式工法 ・ 乾式工法 取付け金物 ・ ※標準仕様書 10. 2. 2 (c) による ・ 引金物, だぼ, かすがい及び受金物 標準仕様書 10. 2. 2 (a) による ・ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書 10. 5. 3 (b) による 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない アンカーの材質及び径 ・ ステンレス (SUS304) M10 ・ あと施工アンカーの材質及び寸法 ()

章	項 目	特 記 事 項																																																																									
11 タイル工事	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地	(11.1.3) (表 11.1.1) 位置 ※標準仕様書表 11.1.1 による ・ 図示																																																																									
	2 セメントモルタルに よる陶磁器質タイル 張り	タイルの形状・寸法等 (11.2.2, 3, 7) <table><tr><th rowspan="2">施工 箇所</th><th rowspan="2">主な用途 による区分 (JIS)</th><th rowspan="2">形状/ 寸法 (mm)</th><th colspan="3">吸水率に よる区分</th><th colspan="2">うわぐ すり</th><th colspan="2">役物</th><th colspan="2">色</th><th rowspan="2">再生 材の 適用</th><th colspan="2">耐凍害 性</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>I 類</th><th>Ⅱ類</th><th>Ⅲ類</th><th>施 ゆう</th><th>無 ゆう</th><th>有</th><th>無</th><th>標準</th><th>特注</th><th>有</th><th>無</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・ MCR 工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄) ・ 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 既製調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 <table><tr><th rowspan="2">保水率 (%)</th><th rowspan="2">単位容積質量 (kg/l)</th><th colspan="2">接着強さ (N/mm2)</th><th rowspan="2">長さ変化率 (%)</th><th rowspan="2">曲げ強さ (N/mm2)</th></tr><tr><th>標準時</th><th>温冷繰返し後</th></tr><tr><td>70.0 以上</td><td>1.80 程度</td><td>0.60 以上</td><td>0.40 以上</td><td>0.20 以下</td><td>4.0 以上</td></tr></table> ・ 既製調合目地材	施工 箇所	主な用途 による区分 (JIS)	形状/ 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわぐ すり		役物		色		再生 材の 適用	耐凍害 性		備考	I 類	Ⅱ類	Ⅲ類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm2)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm2)	標準時	温冷繰返し後	70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上
	施工 箇所	主な用途 による区分 (JIS)				形状/ 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわぐ すり		役物		色		再生 材の 適用	耐凍害 性		備考																																																								
I 類			Ⅱ類	Ⅲ類	施 ゆう		無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																														
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
保水率 (%)	単位容積質量 (kg/l)	接着強さ (N/mm2)		長さ変化率 (%)	曲げ強さ (N/mm2)																																																																						
		標準時	温冷繰返し後																																																																								
70.0 以上	1.80 程度	0.60 以上	0.40 以上	0.20 以下	4.0 以上																																																																						
3 接着剤による陶磁器 質タイル張り	(11.3.2～4, 7) タイルの形状・寸法等 <table><tr><th rowspan="2">施工 箇所</th><th rowspan="2">主な用途 による区分 (JIS)</th><th rowspan="2">形状/ 寸法 (mm)</th><th colspan="3">吸水率に よる区分</th><th colspan="2">うわぐ すり</th><th colspan="2">役物</th><th colspan="2">色</th><th rowspan="2">再生 材の 適用</th><th colspan="2">耐凍害 性</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>I 類</th><th>Ⅱ類</th><th>Ⅲ類</th><th>施 ゆう</th><th>無 ゆう</th><th>有</th><th>無</th><th>標準</th><th>特注</th><th>有</th><th>無</th></tr><tr><td>鏡 廻 り</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table> 材料 ◎LIXIL IM-1015P1 (300*300シート, 300*100シート, 100*12.5) 標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ◎行わない 見本焼き ・ 行う ※行わない 外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・ 伸縮調整目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・ その他の目地 ※変成シリコーン系シーリング材 ・ モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・ MCR 工法 ・ 目荒し工法(高圧洗浄) ・	施工 箇所	主な用途 による区分 (JIS)	形状/ 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわぐ すり		役物		色		再生 材の 適用	耐凍害 性		備考	I 類	Ⅱ類	Ⅲ類	施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無	鏡 廻 り			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																
施工 箇所	主な用途 による区分 (JIS)				形状/ 寸法 (mm)	吸水率に よる区分			うわぐ すり		役物		色		再生 材の 適用	耐凍害 性		備考																																																									
		I 類	Ⅱ類	Ⅲ類		施 ゆう	無 ゆう	有	無	標準	特注	有	無																																																														
鏡 廻 り			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・																																																													

章	項 目	特 記 事 項															
11 タイル工事	4 陶磁器質タイル型枠先付け	(11. 4. 2, 3) (表 11. 4. 1)															
		タイルの形状・寸法等															
		施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法(mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	耐凍害性		備考
					I 類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無	
					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
					・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		標準的な曲がりの役物は一体成形とする															
		試験張り ・ 行う ・ 行わない															
		見本焼き ・ 行う ・ 行わない															
タイル型枠先付けの種類																	
種類		適用タイル					タイル型枠先付け面のせき板の種別										
※タイルシート法		・ 小口タイル					※標準仕様書 6. 8. 3 (b) (2)										
・ 目地樹法		・ 二丁掛タイル					・ 金属製タイル先付け用パネル										
・ 栈木法		大型タイル					・										

章	項 目	特 記 事 項																																																																																						
12 木 工 事	1 表面仕上げ ²	(12. 1. 4) <table><tr><th>表面仕上げの種別</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td></td></tr><tr><td>※B 種</td><td></td></tr><tr><td>・ C 種</td><td></td></tr><tr><td>・ D 種</td><td></td></tr></table>	表面仕上げの種別	適用箇所	・ A 種		※B 種		・ C 種		・ D 種																																																																													
	表面仕上げの種別	適用箇所																																																																																						
	・ A 種																																																																																							
	※B 種																																																																																							
	・ C 種																																																																																							
	・ D 種																																																																																							
	2 製材	(12. 1. 4) ・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※2 級・</td><td></td><td>※A 種・B 種・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※2 級・</td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※2 級・</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※A 種・B 種 ・</td><td>・</td></tr></table> ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>等級</th><th>形状</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等・</td><td></td><td>※A 種・B 種・</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等・</td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等・</td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table> ・「製材の日本農林規格」以外の製材 <table><tr><th>施工 箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>造作材の 材面の品質</th><th>防虫処理</th><th>難燃処理</th><th>含水率</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A 種・B 種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A 種 ・B 種 ・</td><td>・</td></tr></table> ・代用樹種を適用しない箇所 ()	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用				※2 級・		※A 種・B 種・	・				※2 級・			・				※2 級・			・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用						※A 種・B 種 ・	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用				※1 等・		※A 種・B 種・	・				※1 等・			・				※1 等・			・	施工 箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の 材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等 の適用				() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A 種 ・B 種 ・	・
	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用																																																																																	
				※2 級・		※A 種・B 種・	・																																																																																	
				※2 級・			・																																																																																	
			※2 級・			・																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用																																																																																		
					※A 種・B 種 ・	・																																																																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等 の適用																																																																																		
			※1 等・		※A 種・B 種・	・																																																																																		
			※1 等・			・																																																																																		
			※1 等・			・																																																																																		
施工 箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の 材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等 の適用																																																																																	
			() 造作材の場合 (※A 種・B 種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A 種 ・B 種 ・	・																																																																																	
3 造作用集成材	(12. 2. 1) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の等級</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>化粧薄板 の樹種</th><th>芯材の 樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の 厚さ (mm)</th><th>見付け材面の等級</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1 等 ・ 2 等</td><td>・</td></tr></table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 <table><tr><th>施工箇所</th><th>化粧薄板 の樹種</th><th>芯材の 樹種</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の 厚さ (mm)</th><th>間伐材等 の適用</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・</td></tr></table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等 の適用				※1 等 ・ 2 等	・				※1 等 ・ 2 等	・				※1 等 ・ 2 等	・	施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等 の適用						※1 等 ・ 2 等	・						※1 等 ・ 2 等	・						※1 等 ・ 2 等	・	施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	間伐材等 の適用						・						・						・															
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の等級	間伐材等 の適用																																																																																				
			※1 等 ・ 2 等	・																																																																																				
			※1 等 ・ 2 等	・																																																																																				
			※1 等 ・ 2 等	・																																																																																				
施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	見付け材面の等級	間伐材等 の適用																																																																																		
					※1 等 ・ 2 等	・																																																																																		
					※1 等 ・ 2 等	・																																																																																		
					※1 等 ・ 2 等	・																																																																																		
施工箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の 厚さ (mm)	間伐材等 の適用																																																																																			
					・																																																																																			
					・																																																																																			
					・																																																																																			

章	項 目	特 記 事 項									
12 木 工 事	3 造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材									
		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質		含水率	間伐材等 の適用			
							※A 種・B 種・	・			
							※A 種・B 種・	・			
							※A 種・B 種・	・			
		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材									
		施工 箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板 の厚さ (mm)	見付け 材面の 品質	含水率	間伐材等 の適用		
								※A 種・B 種 ・	・		
		・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材									
		施工 箇所	化粧薄板 の樹種	芯材の 樹種	寸法 (mm)	化粧薄板 の厚さ (mm)	見付け 材面の 品質	含水率	間伐材等 の適用		
								※A 種・B 種 ・	・		
4 造作用単板積層材		(12. 2. 1)									
		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材									
		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工			防虫処理	間伐材等 の適用			
				・有り(加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級：)			・適用する ・適用しない	・			
		「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材									
		施工 箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工			防虫処理	含水率	間伐材等 の適用		
				・有り (加工 ・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級：)			・適用する ・適用しない	※14%以下	・		
		(12. 2. 1)									
		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ ・普通合板									
		施工 箇所	厚さ (mm)	表板の 樹種名	接着 の 程度	板面の 品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	間伐材 等の 適用	
			※5.5 ・		※1 類 ・2 類	広葉樹 ※2 等以上 ・1 等 針葉樹 ・C-D 以上 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・	
5 床張り用合板等		・構造用合板									
		施工 箇所	厚さ (mm)	等級	表板の 樹種名	接着 の 程度	板面の 品質	有効断面 係数比	難燃処理	強度等級	間伐材 等の 適用
			※12 ・	※2 級 以上 ・		※1 類 ・特類	・C-D 以上 ・		・適用する ・適用しない	・適用する () ・適用しない	・

章	項 目	特 記 事 項								
13 屋根及び びとい工事	1 長尺金属板葺	(13. 2. 2, 3)								
		施工箇所	板及びコイルの 種類	塗膜の耐久性、めっ き付着量等の種類 及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	備考			
			※JIS G 3322 の屋根用コイル ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺・				
	下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ)									
	工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない									
	雪止め ・設置する (図示)									
	2 折板葺	(13. 2. 2) (13. 3. 2, 3) (表 13. 2. 1)								
		施工 箇所	形式	山高, 山ピッチ による区分		耐力 による 区分	材料 による 区分	厚さ (mm)	軒先 面戸 板	耐火 性能
			・重ね形 ・はせ締め形 ・かん合形 ・			()種	※鋼板製 ・アルミ合 合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し
材料 板及びコイルの種類 (										

章	項 目	特 記 事 項								
13 屋根及び とい工事	4 とい	(13.5.2, 3) (表 13.5.5)								
		といの材種 ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・								
		ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量								
		※規制対象外 ・								
		鋼管製のといの防露巻き ・適用する（工法：※標準仕様書表 13.5.5 による ・ ）								
		・適用しない								
		<table><tr><th>種別</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ろく屋根用（・縦型 ・横型）</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td></tr></table>	種別	施工箇所	・ろく屋根用（・縦型 ・横型）		・バルコニー用		・バルコニー中継用	
種別	施工箇所									
・ろく屋根用（・縦型 ・横型）										
・バルコニー用										
・バルコニー中継用										

章	項 目	特 記 事 項																										
14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ	(14. 2. 1) <table><tr><th>種類</th><th>施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）</th></tr><tr><td>※HL 程度</td><td></td></tr><tr><td>・鏡面仕上程度</td><td></td></tr><tr><td>・No.2B 程度</td><td></td></tr></table>	種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）	※HL 程度		・鏡面仕上程度		・No.2B 程度																			
	種類	施工箇所（手すり、タラップ、建具以外）																										
	※HL 程度																											
	・鏡面仕上程度																											
・No.2B 程度																												
2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14. 2. 2)（表 14. 2. 1） <table><tr><th>種類</th><th>皮膜又は複合皮膜の種類</th><th>施工箇所（成形板、笠木、建具以外）</th></tr><tr><td>・A-1 種</td><td>※AA15・</td><td></td></tr><tr><td>・A-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）</td><td>※AA15・</td><td></td></tr><tr><td>・B-1 種</td><td>※B・</td><td></td></tr><tr><td>・B-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）</td><td>※B・</td><td></td></tr><tr><td>・C-1 種</td><td>※AA6・</td><td></td></tr><tr><td>・C-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）</td><td>※AA6・</td><td></td></tr><tr><td>・D 種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色	種類	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）	・A-1 種	※AA15・		・A-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※AA15・		・B-1 種	※B・		・B-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※B・		・C-1 種	※AA6・		・C-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※AA6・		・D 種			・		
種類	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）																										
・A-1 種	※AA15・																											
・A-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※AA15・																											
・B-1 種	※B・																											
・B-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※B・																											
・C-1 種	※AA6・																											
・C-2 種（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）	※AA6・																											
・D 種																												
・																												
3 鉄鋼の亜鉛めっき	(14. 2. 3) <table><tr><th>表面処理方法</th><th>種別</th><th>施工箇所（手すり、タラップ以外）</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・A 種</td><td></td></tr><tr><td>・B 種</td><td></td></tr><tr><td>・C 種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・D 種</td><td></td></tr><tr><td>・E 種</td><td></td></tr><tr><td>・F 種</td><td></td></tr></table>	表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）	溶融亜鉛めっき	・A 種		・B 種		・C 種		電気亜鉛めっき	・D 種		・E 種		・F 種											
表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）																										
溶融亜鉛めっき	・A 種																											
	・B 種																											
	・C 種																											
電気亜鉛めっき	・D 種																											
	・E 種																											
	・F 種																											
4 軽量鉄骨天井下地	(14. 4. 2～4)（表 14. 4. 1） 野縁等の種類 屋外（※25 形 ・19 形） 屋内（※19 形 ・25 形） ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法） ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・図示 ・ ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ・図示 ・ ・天井のふところ1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 ※標準仕様書 14. 4. 4(h) (1)～(2)による ・図示 ・天井のふところ3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 ・ 補強方法 ※図示 ・																											
⑤ 軽量鉄骨壁下地	(14. 5. 3)（表 14. 5. 1） スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書表 14. 5. 1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示 ・																											

章	項 目	特 記 事 項																																							
14 金属工事	6 金属成形板張り	(14. 6. 2, 3) (表 14. 2. 1) <table><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">製法</th><th rowspan="2">形状</th><th rowspan="2">板幅 (mm)</th><th rowspan="2">寸法 (mm)</th><th rowspan="2">厚さ (mm)</th><th colspan="2">表面処理</th></tr><tr><th>種別</th><th>皮膜等の種類</th></tr><tr><td rowspan="5">・アルミ</td><td>・押出し</td><td>・バドル形</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td>・B-1 種</td><td>※B</td></tr><tr><td>・ロール</td><td rowspan="2">・バドル形</td><td>・B-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)</td><td>※B</td></tr><tr><td>※プレス</td><td>・C-1 種</td><td>※AA6</td></tr><tr><td>・</td><td>・C-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)</td><td>※AA6</td></tr><tr><td>・</td><td>・D 種</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 取付け用下地 ※標準仕様書 14. 4 による ・図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工 ・図示 ・) ・設けない	種別	製法	形状	板幅 (mm)	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理		種別	皮膜等の種類	・アルミ	・押出し	・バドル形				・B-1 種	※B	・ロール	・バドル形	・B-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)	※B	※プレス	・C-1 種	※AA6	・	・C-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)	※AA6	・	・D 種		・							
	種別	製法							形状	板幅 (mm)	寸法 (mm)	厚さ (mm)		表面処理																											
			種別	皮膜等の種類																																					
	・アルミ	・押出し	・バドル形				・B-1 種	※B																																	
		・ロール	・バドル形				・B-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)	※B																																	
		※プレス					・C-1 種	※AA6																																	
		・	・C-2 種 (・アンバー・ブロンズ ・ブラック系・ステンカラー)				※AA6																																		
		・	・D 種																																						
	・																																								
	7 アルミニウム製笠木	(14. 7. 2, 3) (表 14. 2. 1) (表 14. 7. 1) 種類 ・250 形 ・300 形 ・350 形 ・100 形 表面処理 種別 () 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14. 2. 1 による ・) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない																																							
8 手すり及びタラップ	(14. 8. 2, 3) 手すり ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL 程度 ・No. 2B 程度 ・) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっき C 種 ・) タラップ ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※HL 程度 ・No. 2B 程度 ・) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっき C 種 ・)																																								

章	項 目	特 記 事 項																																																																							
15 左官工事	① モルタル塗り	(15. 2. 2, 5) 既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※図示 ・) ・ 設けない 床目地 ・ 設ける (工法※押し目地 ・) ◎設けない 外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 ・ 適用する ・ 適用しない 防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤(JIS A 1404 による試験) <table><tr><td>混合割合</td><td>凝結時間</td><td>曲げ及び 圧縮強度比</td><td>吸水比</td><td>透水比</td></tr><tr><td>セメント重量の 5%以内</td><td>JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内</td><td>70%以上</td><td>95%以下</td><td>80%以下 294. 0KPa/h</td></tr></table>	混合割合	凝結時間	曲げ及び 圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント重量の 5%以内	JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294. 0KPa/h																																																													
	混合割合	凝結時間	曲げ及び 圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																				
	セメント重量の 5%以内	JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294. 0KPa/h																																																																				
	2 床コンクリートの 直均し仕上げ	下表以外は標準仕様書表 15. 3. 2 による(表 6. 2. 5) (15. 3. 2) <table><tr><td>施工箇所</td><td>平たんさ(mm)</td><td>備考</td></tr><tr><td>フリーアースフロア(パネル構法)範囲</td><td>1mにつき 10 以下</td><td></td></tr><tr><td>フリーアースフロア(溝構法)範囲</td><td>3mにつき 7 以下</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	施工箇所	平たんさ(mm)	備考	フリーアースフロア(パネル構法)範囲	1mにつき 10 以下		フリーアースフロア(溝構法)範囲	3mにつき 7 以下		・																																																													
	施工箇所	平たんさ(mm)	備考																																																																						
フリーアースフロア(パネル構法)範囲	1mにつき 10 以下																																																																								
フリーアースフロア(溝構法)範囲	3mにつき 7 以下																																																																								
・																																																																									
3 セルフレベリング材 塗り	(15. 4. 2) (表 15. 4. 1) ・ 石こう系 ・ セメント系																																																																								
4 仕上塗材仕上げ	(15. 5. 2) 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 仕上塗材の種類 <table><tr><td>種類</td><td>呼び名</td><td>防火 材料</td><td>仕上げの形状等</td></tr><tr><td rowspan="11">・ 薄付け 仕上塗材</td><td>・ 外装薄塗材 Si</td><td>・</td><td rowspan="11">・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 耐湿性 ・ 適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・ 可とう形外装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 外装薄塗材 S</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 C</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 L</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 W</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="8">・ 厚付け仕上 塗材</td><td>・ 外装薄塗材 C</td><td>・</td><td rowspan="8">・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 上塗材 ・ 適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・ 外装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 外装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 C</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 L</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 G</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 内装薄塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="9">・ 複層仕上 塗材</td><td>・ 複層塗材 CE</td><td>・</td><td rowspan="9">・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>・ 可とう形複層塗材 CE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 Si</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 複層塗材 RE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 CE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 E</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 RE</td><td>・</td></tr><tr><td>・ 防水形複層塗材 RS</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 軽量骨材 仕上塗材</td><td>・ 吹付け軽量塗材</td><td>・</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>・ こて塗用軽量塗材</td><td>・</td></tr></table>	種類	呼び名	防火 材料	仕上げの形状等	・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 Si	・	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 耐湿性 ・ 適用する・適用しない	・ 可とう形外装薄塗材 Si	・	・ 外装薄塗材 E	・	・ 可とう形外装薄塗材 E	・	・ 防水形外装薄塗材 E	・	・ 外装薄塗材 S	・	・ 内装薄塗材 C	・	・ 内装薄塗材 L	・	・ 内装薄塗材 Si	・	・ 内装薄塗材 E	・	・ 内装薄塗材 W	・	・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装薄塗材 C	・	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 上塗材 ・ 適用する・適用しない	・ 外装薄塗材 Si	・	・ 外装薄塗材 E	・	・ 内装薄塗材 C	・	・ 内装薄塗材 L	・	・ 内装薄塗材 G	・	・ 内装薄塗材 Si	・	・ 内装薄塗材 E	・	・ 複層仕上 塗材	・ 複層塗材 CE	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない	・ 可とう形複層塗材 CE	・	・ 複層塗材 Si	・	・ 複層塗材 E	・	・ 複層塗材 RE	・	・ 防水形複層塗材 CE	・	・ 防水形複層塗材 E	・	・ 防水形複層塗材 RE	・	・ 防水形複層塗材 RS	・	・ 軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付け軽量塗材	・		・ こて塗用軽量塗材	・
種類	呼び名	防火 材料	仕上げの形状等																																																																						
・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材 Si	・	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 (・ 吹付け・ローラー塗り) ・ さざ波状 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 着色骨材砂壁状 (・ 吹付け・こて塗り) ・ 砂壁状じゅらく ・ 京壁状じゅらく 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 耐湿性 ・ 適用する・適用しない																																																																						
	・ 可とう形外装薄塗材 Si	・																																																																							
	・ 外装薄塗材 E	・																																																																							
	・ 可とう形外装薄塗材 E	・																																																																							
	・ 防水形外装薄塗材 E	・																																																																							
	・ 外装薄塗材 S	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 C	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 L	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 Si	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 E	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 W	・																																																																							
・ 厚付け仕上 塗材	・ 外装薄塗材 C	・	・ 吹放し ・ 凸部処理 ・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起こし ・ かき落とし 吸放湿性 ・ 適用する・適用しない 上塗材 ・ 適用する・適用しない																																																																						
	・ 外装薄塗材 Si	・																																																																							
	・ 外装薄塗材 E	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 C	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 L	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 G	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 Si	・																																																																							
	・ 内装薄塗材 E	・																																																																							
・ 複層仕上 塗材	・ 複層塗材 CE	・	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 上塗材 耐候性 ※耐候形 3 種 ・ 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 増塗材 ・ 適用する ・ 適用しない																																																																						
	・ 可とう形複層塗材 CE	・																																																																							
	・ 複層塗材 Si	・																																																																							
	・ 複層塗材 E	・																																																																							
	・ 複層塗材 RE	・																																																																							
	・ 防水形複層塗材 CE	・																																																																							
	・ 防水形複層塗材 E	・																																																																							
	・ 防水形複層塗材 RE	・																																																																							
	・ 防水形複層塗材 RS	・																																																																							
・ 軽量骨材 仕上塗材	・ 吹付け軽量塗材	・																																																																							
	・ こて塗用軽量塗材	・																																																																							

章	項 目	特 記 事 項
15 左官工事	5 ALC パネルの場合の下地処理	内壁目地部の形状 ※V 形目地付き (15. 5. 2)
	6 マスチック塗料塗り	種別 ・ A 種 ・ B 種 (仕上材塗り : EP-G ※B 種 ・ A 種) (15. 6. 2)
	7 ロックウール吹付け	ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 吹付け厚さ (mm) ・ 図示 ・ 25 ・ (15. 8. 2)

章	項 目	特 記 事 項												
16 建具工事	1 防火戸	※建具表による												
	2 見本の製作等	(16. 1. 4) 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号：) ・ 行わない 建具見本の制度 ・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・ 納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号：) ・ 行わない												
	3 防犯建物部品	(16. 1. 6) ・ 適用する (※建具表による) ・ 適用しない												
	4 アルミニウム製建具	(16. 2. 2, 4, 5) (表 14. 2. 1) 性能等級 外部に面する建具 ・ A 種 (建具符号：※建具表による) ・ B 種 (建具符号：※建具表による) ・ C 種 (建具符号：※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 () (建具符号：・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 () (建具符号：・ 建具表による) ・ 適用しない 耐震ドアセット ・ 適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号：・ 建具表による) ・ 適用しない 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・ B-1 種 ・ B-2 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14. 2. 1 による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 屋内の建具 ・ C-1 種 ・ C-2 種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表 14. 2. 1 による) 着色 (・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板, ぜん板 ※図示												
	5 網戸等	(16. 2. 3) <table><tr><th>種類</th><th>材種</th><th>線径</th><th>網目</th></tr><tr><td>・ 防虫網</td><td>※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製</td><td>※0. 25mm 以上 ・</td><td>※16～18 メッシュ ・</td></tr><tr><td>・ 防鳥網</td><td>ステン製 (SUS304) 線材</td><td>1. 5mm</td><td>網目寸法 15mm</td></tr></table>	種類	材種	線径	網目	・ 防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・	・ 防鳥網	ステン製 (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法 15mm
	種類	材種	線径	網目										
・ 防虫網	※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステン製 (SUS316) 製	※0. 25mm 以上 ・	※16～18 メッシュ ・											
・ 防鳥網	ステン製 (SUS304) 線材	1. 5mm	網目寸法 15mm											
6 樹脂製建具	(16. 3. 2～5) 性能等級 外部に面する建具 ・ A 種 (建具符号：※建具表による) ・ B 種 (建具符号：※建具表による) ・ C 種 (建具符号：※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・ 適用する 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号：・ 建具表による) ・ 適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・ 適用する 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5) (建具符号：・ 建具表による) ・ 適用しない													

章	項 目	特 記 事 項								
16 建具工事	6 樹脂製建具	耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による ・ 表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板, ぜん板 ※図示 ・ ガラス ※複層ガラス ・								
	7 鋼製建具	(16. 2. 2) (16. 4. 2～4) (表 16. 4. 2) 性能等級 簡易気密型 ・適用する（建具符号：※建具表による ） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：※建具表による ） ・S-5（建具符号：※建具表による ） ・S-6（建具符号：※建具表による ） ・ 防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 鋼板 <table><tr><th>材料</th><th>めっき付着量</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td><td>※Z12 又は F12 ・</td><td rowspan="2">・標準仕様書表 16. 4. 2 による ・</td></tr><tr><td>・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td><td>※Y08</td></tr></table>	材料	めっき付着量	厚さ	・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12 ・	・標準仕様書表 16. 4. 2 による ・	・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08
	材料	めっき付着量	厚さ							
・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12 又は F12 ・	・標準仕様書表 16. 4. 2 による ・								
・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08									
8 鋼製軽量建具	(16. 2. 2) (16. 5. 2～4) 性能等級 簡易気密型 ・適用する（建具符号：※建具表による ） ・適用しない 防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級（ ） （建具符号：・建具表による ） ・適用しない 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル皮膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・標準仕様書表 16. 5. 1 による ・ 召合せ, 縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・建具表による									

章	項 目	特 記 事 項											
16 建具工事	9 ステンレス建具	(16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2～4) 性能等級 簡易気密型 ・適用する (建具符号: ※建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ※建具表による) ・S-5 (建具符号: ※建具表による) ・S-6 (建具符号: ※建具表による) 防音ドアセット, 防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 断熱ドアセット, 断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない 鋼板 (屋外) ※SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 鋼板 (屋内) ※SUS430, SUS430JIL, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※HL 仕上げ ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ											
	⑩ 木製建具	(16. 7. 2～4) 建具材の加工, 組立時の含水率 ※B 種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種 ◎フラッシュ戸 表面材の合板の種類 <table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th><th>規格等</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・普通合板</td><td> 表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) </td><td></td></tr> <tr> <td>・天然木 化粧合板</td><td> 樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) </td><td></td></tr> <tr> <td>◎特殊加工 化粧合板</td><td> 化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類) </td><td></td></tr> </tbody> </table> 表面板の厚さ ※表 16. 7. 6 による ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I 型 ・II 型) 上張り ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠, くつずりの材料 ・建具表による	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)		・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)		◎特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類)
合板の種類	規格等	備考											
・普通合板	表面の樹種 生地, 透明塗料塗 (※ラツ程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)												
・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類)												
◎特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 ()タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類)												

章	項 目	特 記 事 項														
16 建具工事	⑪ 建具用金物	(16. 8. 2, 3) 金物の種類・見え掛かり部の材質等 ※標準仕様書表 16. 8. 1 及び適用は建具表による 樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表 16. 8. 3 による 握り玉, レバーハンドル, 押板類, クレセントの取付位置 ◎建具表による ・錠前類 【シリンダ箱状及びシリンダ本締め錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は 17mm 以上とする。鍵付きのものはマスターキー, グランドマスターキー, コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 ・錠前類 【レバーハンドル】 ◎クローザ類														
	12 鍵	(16. 8. 4) マスターキー ※製作する ・ 製作しない その他の鍵 ※各室 3 本 1 組 ・ 鍵箱 ※有り ・ 無し														
	13 自動ドア開閉機構	(16. 9. 2, 3) <table><tr><th>自動ドア</th><th>性能</th><th>防錆</th><th>センサーの方式</th><th>凍結防止</th></tr><tr><td>・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2</td><td>※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・</td><td rowspan="3">・ 適用する ・ 適用しない</td><td rowspan="3">・ マットスイッチ ・ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 多機能トイレスwitch</td><td rowspan="3">・ 行う (適用箇所は建具表による) ・ 行わない</td></tr><tr><td>・ SWD-1 ・ SWD-2</td><td>※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・</td></tr><tr><td>・ 図示</td><td>・</td></tr></table>	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止	・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2	※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・	・ 適用する ・ 適用しない	・ マットスイッチ ・ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 多機能トイレスwitch	・ 行う (適用箇所は建具表による) ・ 行わない	・ SWD-1 ・ SWD-2	※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・	・ 図示	・
	自動ドア	性能	防錆	センサーの方式	凍結防止											
	・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2	※標準仕様書表 16. 9. 1 による ・	・ 適用する ・ 適用しない	・ マットスイッチ ・ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 多機能トイレスwitch	・ 行う (適用箇所は建具表による) ・ 行わない											
・ SWD-1 ・ SWD-2	※標準仕様書表 16. 9. 2 による ・															
・ 図示	・															
14 自閉式上吊り引戸装置	(16. 10. 3) 性能 ※ 標準仕様書表 16. 10. 1 による ・															
15 重量シャッター	(16. 11. 2, 3) <table><tr><th>シャッターの種類</th><th>耐風圧強度</th></tr><tr><td>・ 一般重量シャッター</td><td>耐風圧強度 () N/m²</td></tr><tr><td>・ 外壁用防火シャッター</td><td>耐風圧強度 () N/m²</td></tr><tr><td>・ 屋内用防火シャッター</td><td></td></tr><tr><td>・ 屋内用防煙シャッター</td><td></td></tr></table> 開閉機能による種類 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又は F12 ・	シャッターの種類	耐風圧強度	・ 一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²	・ 屋内用防火シャッター		・ 屋内用防煙シャッター						
シャッターの種類	耐風圧強度															
・ 一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m ²															
・ 外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m ²															
・ 屋内用防火シャッター																
・ 屋内用防煙シャッター																
16 軽量シャッター	(16. 12. 2~4) 開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) スラットの材質 ※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06 又は F06 ・) ・ JIS G 3318(塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90 ・) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形															

章	項 目	特 記 事 項				
16 建具工事	17 オーバーヘッドドア	(16. 13. 2～3)				
		セクション材料 による区分	耐風圧 区分 (Pa)	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレール の材質
		※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラストタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バネ付形	※溶融亜鉛 めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
	18 ガラス	(9. 7) (16. 14. 2～4) (表 16. 14. 1)				
		・合わせガラス				
		品 種	構成種類		性能	
		・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収, フロート板合わせガラス		・Ⅰ類	
		・網入磨き合わせガラス	・網入磨き, フロート板合わせガラス ・網入磨き, 熱線吸収板合わせガラス		・Ⅱ-1類・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	
		・強化ガラス				
		品 種	構成種類		性能	
		・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス		・Ⅰ類 ・Ⅲ類	
		・型板ガラス	・型板強化ガラス			
		・熱線吸収板ガラス				
		品 種	性能		色調	
		・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種		・ブルー ・グレー ・ブロンズ	
		・熱線吸収網入磨き板ガラス				
		・複層ガラス				
		品 種	断熱性		日射遮へい性	
		・断熱複層ガラス	・1種		U1	
			・2種		U2	
			・3種		U-3-1 ・U-3-2	
		・日射熱遮へい複層ガラス	・4種		E4	
			・5種		E5	
		・熱線反射ガラス				
		品 種	日射遮へい性		耐久性	
		・熱線反射ガラス 色調(・ブルー ・グレー) ・高性能熱線反射ガラス 色調(・ブロンズ ・シルバー)	・1種		A類	
			・2種		・A類 ・B類	
	・3種		B類			
	反射皮膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う ・倍強度ガラス					
	材料板ガラスによる種類の名称		色調			
	・フロート倍強度ガラス		-			
	・熱線吸収倍強度ガラス		・ブルー ・グレー ・ブロンズ			
	ガラスの留め材及び溝の大きさ					
	建具の種類	ガラスの留め材		ガラスの溝の大きさ(mm)		
	アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・		※標準仕様書表 16. 14. 1 による ・図示 ・		
	鋼製	・シーリング材 ・		※標準仕様書表 16. 14. 1 による ・図示 ・		
	ステンレス製	・シーリング材 ・		※標準仕様書表 16. 14. 1 による ・図示 ・		

16
建具工事

19 ガラスブロック

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調		目地幅(mm)		伸縮調整目地(mm)	防火性能
			ｸﾘｱ	乳白	平積み	曲面積み		
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 ・ 内側 ※6以上 ・	※6m以下ごとに10～25 ・図示 ・	※無し ・有り
	・160×160	・95 ・125	・	・				
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属枠及び補強材 ・設ける（形状 ※図示 ）
 ・設けない

力骨 材質 ※ステンレス鋼（SUS304） ・
 寸法 ※径 5.5mm ・
 形状 ※はしご形状複筋及び単筋 ・

化粧目地モルタルの色（ ）

金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
 寸法 ・図示 ・
 形状 ・図示 ・

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法）
 ・適用しない

目地部の力骨の補強方法
 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示 ・

章	項 目	特 記 事 項																			
17 カーテンウォール工事	1 取付方法, 性能等	(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)																			
		取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱・梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式 ・ 性能																			
		<table><tr><th colspan="2">耐震性能</th><th rowspan="2">水密性</th><th rowspan="2">気密性</th><th rowspan="2">遮音性</th><th rowspan="2">断熱性</th><th rowspan="2">耐火性能</th><th rowspan="2">耐温度差性能 (℃)</th></tr><tr><th>水平方向 (kH)</th><th>垂直方向 (kV)</th></tr><tr><td>・ 1.0 ・</td><td>・ 0.5 ・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ 30 分 ・ 1 時間</td><td>・ 80 ・ 70 ・ 60</td></tr></table>	耐震性能		水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性能 (℃)	水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)	・ 1.0 ・	・ 0.5 ・					・ 30 分 ・ 1 時間	・ 80 ・ 70 ・ 60	
		耐震性能		水密性							気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性能 (℃)						
		水平方向 (kH)	垂直方向 (kV)																		
		・ 1.0 ・	・ 0.5 ・					・ 30 分 ・ 1 時間	・ 80 ・ 70 ・ 60												
		耐風圧性能 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍の風圧力に対応した工法） ・適用しない																			
		主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）																			
		<table><tr><th>支点間距離 (h)</th><th>耐風圧性能</th><th>状態</th></tr><tr><td>4m 以下</td><td>・ たわみ量が± (1/150) × h かつ絶対量 20mm 以下であること ・</td><td rowspan="2">部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。</td></tr><tr><td>4m を超える</td><td>・</td></tr></table>	支点間距離 (h)	耐風圧性能	状態	4m 以下	・ たわみ量が± (1/150) × h かつ絶対量 20mm 以下であること ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。	4m を超える	・											
		支点間距離 (h)	耐風圧性能	状態																	
		4m 以下	・ たわみ量が± (1/150) × h かつ絶対量 20mm 以下であること ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。																	
		4m を超える	・																		
		層間変位追従性																			
		<table><tr><th>建築物の構造種別</th><th>層間変位量 (h=支点間距離)</th><th>状態</th></tr><tr><td>鉄骨造</td><td>・ ± (1/200) × h 以上 ・</td><td rowspan="2">部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。</td></tr><tr><td>鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造</td><td>・ ± (1/300) × h 以上</td></tr></table>	建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	状態	鉄骨造	・ ± (1/200) × h 以上 ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ ± (1/300) × h 以上											
		建築物の構造種別	層間変位量 (h=支点間距離)	状態																	
		鉄骨造	・ ± (1/200) × h 以上 ・	部材の脱落, ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。 シーリングは補修程度の損傷であること。																	
		鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ ± (1/300) × h 以上																		
シーリング材 下表以外は標準仕様書 9.7.1 による																					
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">被着体の組合わせ</th><th colspan="2">シーリング材の種別</th></tr><tr><th>記号</th><th>主成分による区分</th></tr><tr><td rowspan="2">金属</td><td>ガラス</td><td></td><td></td></tr><tr><td>石, タイル</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ガラス</td><td>ガラス</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">カーテンウォール板間目地</td><td></td><td></td></tr></table>	被着体の組合わせ		シーリング材の種別		記号	主成分による区分	金属	ガラス			石, タイル			ガラス	ガラス			カーテンウォール板間目地			
被着体の組合わせ			シーリング材の種別																		
		記号	主成分による区分																		
金属	ガラス																				
	石, タイル																				
ガラス	ガラス																				
カーテンウォール板間目地																					
構造用ガスケット ・適用する （施工箇所 ・図示 ・ ） 材質 ・クロロプレン系 ・EPDM 系 ・シリコーン系 形状 ・H 形 ・Y 形 ・C 形 寸法 (mm) ガラス板厚（ ），支持枠の厚さ（ ），ウェブの寸法（ ） ・適用しない																					
断熱材 種類（ ） 厚さ (mm)（ ） 施工箇所 ・図示 ・																					
耐火材料																					
<table><tr><th>施工部位</th><th>種別</th><th>規格帯</th></tr><tr><td>・ファスナー部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・取付けブラケット</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・パネル目地部</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・層間ふさぎ</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table>	施工部位	種別	規格帯	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ								
施工部位	種別	規格帯																			
・ファスナー部																					
・取付けブラケット																					
・パネル目地部																					
・層間ふさぎ																					

章	項 目	特 記 事 項			
17 カーテンウォール工事	2 メタルカーテンウォール	カーテンウォール材料			
		種類	規格等		映像調整
		※アルミ製	※標準仕様書 16. 2. 3 による ・	・ A-1 種 ・ A-2 種 ・ 皮膜等の種類(※標準仕様書表 14. 2. 1 による ・) 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)	・ 行う ・ 行わない
		製品及び取付け位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17. 2. 1～3 による ガラス溝の寸法, 形状 ※製造所の仕様による ・			
	3 PC カーテンウォール	(17. 3. 2～5)			
		カーテンウォールの材料			
		コンクリート ※標準仕様書 17. 3. 2 (a) (i) ～(iv) による ・			
		鉄筋 ※SD295A (・ D13 ・ D10)			
		補強鉄線の径 (mm) ※3. 2 ・ 4. 0 ・ 5. 0 ・ 6. 0			
配筋 ※図示					
先付けの材料 ・ サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール					
表面仕上げ材 ・ 磁器質タイル					
・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石 ・)					
・					
ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm)					
・ h=1～+2, W1 及び W2=±1					
製品及び取付位置の寸法許容差 ※標準仕様書表 17. 3. 1～2 による ・					

章

18

塗装工事

項 目	特 記 事 項																																																																		
① 材料	(18. 1. 3) 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ ◎防火材料 ※屋内の壁，天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)																																																																		
② 素地ごしらえ	(18. 2. 2～7) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>種別</th></tr><tr><td rowspan="2">木部</td><td>不透明塗料塗りの場合</td><td>※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>透明塗りの場合</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">鉄鋼面</td><td>※C種 ・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td colspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td></tr><tr><td colspan="2">珪藻土面及び石膏面</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td colspan="2">コンクリート面，ALCパネル面及び押出成形セメント板面</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td rowspan="2">せっこうボード面及びその他 ボード面</td><td>目地：継目処理工法</td><td>※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>目地：継目処理工法以外</td><td>※B種 ・ A種</td></tr></table>	下地面等		種別	木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種	透明塗りの場合	※B種 ・ A種	鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種	亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種	珪藻土面及び石膏面		※B種 ・ A種	コンクリート面，ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他 ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種																																									
下地面等		種別																																																																	
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・ B種																																																																	
	透明塗りの場合	※B種 ・ A種																																																																	
鉄鋼面		※C種 ・ A種 ・ B種																																																																	
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																	
珪藻土面及び石膏面		※B種 ・ A種																																																																	
コンクリート面，ALCパネル面及び押出成形セメント板面		※B種 ・ A種																																																																	
せっこうボード面及びその他 ボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・ B種																																																																	
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・ A種																																																																	
3 錆止め塗料塗り	(18. 3. 2, 3) <table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>工程の種別</th><th>塗料の種類</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>見え掛り部分</td><td>※A種 ・ B種</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>見え隠れ部分</td><td>※B種 ・ A種</td></tr><tr><td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>鋼製建具</td><td>※A種 ・ B種 ・ C種</td><td>・ A種 ・ B種</td></tr><tr><td>鋼製建具以外</td><td>※C種 ・ A種 ・ B種</td><td>・ C種</td></tr></table>	下地面等		工程の種別	塗料の種類	鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・ B種		見え隠れ部分	※B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	鋼製建具以外	※C種 ・ A種 ・ B種	・ C種																																																	
下地面等		工程の種別	塗料の種類																																																																
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種 ・ B種																																																																	
	見え隠れ部分	※B種 ・ A種																																																																	
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種 ・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種																																																																
	鋼製建具以外	※C種 ・ A種 ・ B種	・ C種																																																																
④ 塗装	(18. 4. 1～18. 14. 2) <table><tr><th colspan="2">塗装</th><th>種別</th><th>塗料の種類</th></tr><tr><td rowspan="4">・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td><td>木部屋外</td><td>※A種 ・ B種</td><td>※1種 ・ 2種</td></tr><tr><td>木部屋内</td><td>※B種 ・ A種</td><td>※1種 ・ 2種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※B種 ・ A種</td><td>※1種 ・ 2種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>－</td><td>※1種 ・ 2種</td></tr><tr><td colspan="2">・ クリアッカー塗り (CL)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="3">・ 耐候性塗料塗り (DP)</td><td>鉄鋼面</td><td>－</td><td>上塗り等級()級</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>－</td><td>上塗り等級()級</td></tr><tr><td>コンクリート面及び押出 成形セメント板面</td><td>※A種 ・ B種 ・ C種</td><td>上塗り等級()級</td></tr><tr><td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)</td><td>コンクリート面等</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td>屋内の鉄鋼面</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ ウルタン樹脂ワニス塗り (UC)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ ラッカーエマル塗り (LE)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ オイルステイン塗り (OS)</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td colspan="2">・ 木材保護塗料塗り (WP)</td><td>※B種 ・ A種</td><td>－</td></tr></table> 屋上，屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装とする。	塗装		種別	塗料の種類	・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種	亜鉛めっき鋼面	－	※1種 ・ 2種	・ クリアッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	－	・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	－	・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	－	上塗り等級()級	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り等級()級	コンクリート面及び押出 成形セメント板面	※A種 ・ B種 ・ C種	上塗り等級()級	・ つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・ A種	－	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	－	◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・ A種	－	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ A種	－	・ ウルタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	－	・ ラッカーエマル塗り (LE)		※B種 ・ A種	－	・ オイルステイン塗り (OS)		－	－	・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	－
塗装		種別	塗料の種類																																																																
・ 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種 ・ B種	※1種 ・ 2種																																																																
	木部屋内	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																
	鉄鋼面	※B種 ・ A種	※1種 ・ 2種																																																																
	亜鉛めっき鋼面	－	※1種 ・ 2種																																																																
・ クリアッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	－	上塗り等級()級																																																																
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り等級()級																																																																
	コンクリート面及び押出 成形セメント板面	※A種 ・ B種 ・ C種	上塗り等級()級																																																																
・ つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・ A種	－																																																																
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ A種	－																																																																
◎合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ ウルタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ ラッカーエマル塗り (LE)		※B種 ・ A種	－																																																																
・ オイルステイン塗り (OS)		－	－																																																																
・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	－																																																																
⑤ 塗装業者	※ 日本塗装工業会の会員 ◎ 監督員の承諾する塗装業者																																																																		

章	項 目	特 記 事 項																																	
19 内装工事	① 接着剤	(19. 2. 2) 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。																																	
	② ビニル床シート	(19. 2. 2, 3) <table><tr><th>種類</th><th>JIS 記号</th><th>施工箇所</th><th>色柄</th><th>特殊機能</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※FS (複層ビニル床シート) ・</td><td></td><td>※無地 ◎マーブル柄</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性</td><td>※2. 0 ◎2. 5</td><td></td></tr><tr><td>・発泡層のあるもの</td><td>・</td><td></td><td>・無地 ・柄物</td><td>・耐薬品性</td><td></td><td></td></tr></table> 工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ） 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2 以上～3. 2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度 ◎巾木巻き上げH=100 アルミ見切止め							種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	※発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート) ・		※無地 ◎マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性	※2. 0 ◎2. 5		・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・耐薬品性								
	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																												
	※発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート) ・		※無地 ◎マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性	※2. 0 ◎2. 5																													
	・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・耐薬品性																														
3 ビニル床タイル張り	(19. 2. 2) <table><tr><th>JIS の記号</th><th>施工箇所</th><th>色柄</th><th>寸法</th><th>特殊機能</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td><td></td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ 300×300 ・ 450×450</td><td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td><td>※2. 0 ・ 2. 5 ・ 3. 0</td><td></td></tr><tr><td>・ KT (コンポジションビニル床タイル)</td><td></td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ 300×300 ・ 450×450</td><td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td><td>・ 2. 0 ・ 3. 0</td><td></td></tr><tr><td>・ FOA (床敷きビニル床タイル)</td><td></td><td>・ 無地 ・ 柄物</td><td>・ 500×500</td><td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td><td>・</td><td></td></tr></table> 特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1. 2 以上～3. 2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度 ・							JIS の記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※2. 0 ・ 2. 5 ・ 3. 0		・ KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2. 0 ・ 3. 0		・ FOA (床敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・	
JIS の記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																													
・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※2. 0 ・ 2. 5 ・ 3. 0																														
・ KT (コンポジションビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2. 0 ・ 3. 0																														
・ FOA (床敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・																														
4 ビニル幅木	(19. 2. 2) 材質 ・ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※60 ・ 75 厚さ (mm) ※1. 5 以上 ・																																		
5 ゴム床タイル	(19. 2. 2) 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0 寸法 (mm) ()																																		

章	項 目	特 記 事 項						
19 内装工事	6 カーペット敷き	・織じゅうたん (19.3.3) (表 19.3.1)						
		種別	種類	織り方	色柄等	帯電性	備考	
		・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット, ループ 併用	・ウルトカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミスターカーペット	・無地 ・柄物 (標準品)	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・) ・適用しない		
		下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第 2 種 2 号 呼び厚さ 8mm ・						
		・タフテッドカーペット (19.3.3, 4)						
		パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考		
		・カットパイル	※5～7 ・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・) ・適用しない			
		・ループパイル	※4～6 ・					
		・レベルループパイル	.4 ・					
		・カット, ループ 併用	・					
		下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第 2 種 2 号 呼び厚さ 8mm ・						
		・ニードルパンチカーペット (19.3.3, 4) 厚さ (mm) () 帯電性 ・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・) ・適用しない 備考 ()						
		・タイルカーペット (19.3.3, 4)						
			パイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
			・カットパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
			・ループパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
			・カット, ループ 併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
		タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・ 見切り, 押え金物 ・適用する (材質, 形状等 ※図示 ・) ・適用しない						
	7 合成樹脂塗床	(19.4.2, 3) (表 19.4.1～7)						
		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類			
		・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ			
		・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ			
		・薄膜型塗床材						
		・アクリル樹脂塗床			工程 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・平滑 ・ 防滑 溶剤 ・水性色 ・ 溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ・標準色 ・			
		塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・						

章	項 目	特 記 事 項						
19 内装工事	8 フローリング張り	(19.5.2～7) (表 19.5.1～6)						
		単層フローリング						
		種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材 等の 適用
		・フローリング ボード	・釘留め工法 (根太張り)	※なら ・	15	板幅 75 板長さ 500 以上	・塗装品 ・無塗装品	・
			・釘留め工法 (直張り)	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 500 以上		・
			・接着工法	※なら ・	・12 以上 ・	板幅 75 板長さ 500 以上		・
		・フローリング ブロック	・接着工法	※なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
			・モルタル埋込 工法	※なら ・	※15 ・	※303×303 ・	・塗装品 ・無塗装品	・
		・モザイク パーケット	接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・
		天然木化粧複合フローリング						
種類	工法	樹種	厚さ/ 大きさ (mm)	種別	防湿処理	仕上塗装	間伐材 等の 適用	
・複合 1 種 フローリング ・複合 2 種 フローリング ・複合 3 種 フローリング	・釘留め工法 (根太張り) ・釘留め工法 (直張り) ・接着工法	※なら ・ ※なら ・	 板厚 ・8 以上・ 板幅 ・75 以上 板長さ 900 以上	・A 種 ・B 種 ※C 種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・ ・	
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・ 現場塗装仕上げ ・行う (施工箇所) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上, ワックス塗り ・生地そのままワックス塗り ・行わない								
9 畳敷き		(19.6.2) (表 19.6.1)						
		種別 ・A 種 ・B 種 ・C 種 ・D 種(畳床： ・KT-I ・KT-II ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)						
		下地の種類 ・標準仕様書表 12.6.1 による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン) ・ 畳表及び畳床はホルムアルデヒド, アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか, 発 散が極めて少ない材料を使用したものとする。						

章	項 目	特 記 事 項						
19 内装工事	⑩ せっこうボード その他ボード張り	(19.7.2, 3) (表 19.7.1)						
		種類	JIS 記号	厚さ (mm), 規格等				
		・硬質木毛セメント板	HW	・15	・20	・25	・	
		・中質木毛セメント板	MW	・15	・20	・25	・	
		・普通木毛セメント板	NW	・15	・20	・25	・	
		・硬質木片セメント板	HF	・12	・15	・18	・21	・
		・普通木片セメント板	NF	・30	・			
		◎けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿)	・6	・8	◎5	
		◎化粧けい酸カルシウム板						
		・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9 (不燃)	・12	・)		
				・凹凸タイプ (・12 (不燃)	・15	・19	・)	
		・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25	・			
		・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25 (ガラスクロス包)	・			
		◎せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃)	・15 (準不燃)	◎9.5		
		・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)				
		・シーゾグ せっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)				
		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5 (不燃)	・15 (不燃)			
		・せっこうラスボード	GB-L	9.5				
		・化粧せっこうボード (木目)	GB-D GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※桤目 ・板目) 専用下地材有り				
		・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)		9.5 (不燃)				
		・普通合板		表面の材種 生地, 透明塗料塗り (※ツツ程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理				
		・天然木化粧合板		樹種名 () 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理				
		・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1 類 ・2 類) 厚さ (mm) () ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理				
		・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903 による (※1.2 ・)				
		・ポリエステル樹脂化粧板						
		・ミディアムデンティ ファイバーボード	MDF	・3	・7	・9	・12	・
		・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 VN ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・				
		・化粧パーティクルボード		・単板オーバーレイ DV ・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・				
		・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RN ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード) RS				
		・ハードボード (化粧)	HB	・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7				
		・インシュレーションボード	IB	A 級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18				
せっこうボード等の下地は図示による。								

章	項 目	特 記 事 項																																													
19 内装工事	10 せっこうボード その他ボード張り	遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド） ・適用しない 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 合板類の張付け ※B 種 ・A 種 せっこうボードの目地工法 ・仕上げ表による ・																																													
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ (19. 8. 2) <table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="5">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維</th><th>プラスチック</th><th>無機質</th><th>その他</th></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃 ・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃 ・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃 ・準不燃</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※不燃 ・準不燃</td><td></td></tr></table> モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B 種 ・A 種 コンクリート・ALC 面の素地ごしらえ ※B 種 ・A 種 せっこうボード面の素地ごしらえ ※B 種 ・A 種	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃			・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃	
	施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																							
紙		繊維	プラスチック	無機質	その他																																										
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
	・	・	・	・	・	※不燃 ・準不燃																																									
⑫	断熱材	(19. 9. 2～3) ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ・断熱材打込み工法 <table><tr><th>種類</th><th></th><th>厚さ (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ビーズ法^ホリスチレンフォーム保温材</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">※押出法^ホリスチレンフォーム保温材</td><td>・保温板(2 種 b)</td><td>・25 ・</td><td>・一般部分 ・</td></tr><tr><td>・保温板(3 種 b) (スキンあり)</td><td>・25 ・</td><td>・接地部分 ・</td></tr><tr><td>・A 種硬質ウレタンフォーム保温材</td><td></td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・フェノールフォーム保温材 (3 種 2 号を除く)</td><td></td><td>・</td><td></td></tr></table> ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A 種 1 ・B 種 1 厚さ(mm) ・25 ・30 ・ 施工箇所 ・図示 ・	種類		厚さ (mm)	施工箇所	・ビーズ法 ^ホ リスチレンフォーム保温材				※押出法 ^ホ リスチレンフォーム保温材	・保温板(2 種 b)	・25 ・	・一般部分 ・	・保温板(3 種 b) (スキンあり)	・25 ・	・接地部分 ・	・A 種硬質ウレタンフォーム保温材		・		・フェノールフォーム保温材 (3 種 2 号を除く)		・																							
種類		厚さ (mm)	施工箇所																																												
・ビーズ法 ^ホ リスチレンフォーム保温材																																															
※押出法 ^ホ リスチレンフォーム保温材	・保温板(2 種 b)	・25 ・	・一般部分 ・																																												
	・保温板(3 種 b) (スキンあり)	・25 ・	・接地部分 ・																																												
・A 種硬質ウレタンフォーム保温材		・																																													
・フェノールフォーム保温材 (3 種 2 号を除く)		・																																													

20

ユニット及びその他の工事

1

フリーアクセスフロア

(20. 2. 2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	耐荷重性能	表面仕上げ材	備考
	・パ ー ン						

章	項 目	特 記 事 項				
20 ユニット及びその他の工事	5 視覚障害者用床タイル	(11. 2. 2) (19. 2. 2)				
		施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	
		屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0	
			・磁器質タイル ・せっ器質タイル	・300×300	・	
			・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	
		屋外	・磁器質タイル ・せっ器質タイル	・300×300	・	
			・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・	
		ブロックパターンは JIS T 9251 による				
	6 階段滑り止め	(20. 2. 6)				
		材種	幅 (mm)	取付け工事	端部フラットエンド	
		・ステンレス製 (SUS304) ビニル付入り	・約 35	※接着工法 ・埋込み工法	・あり	・ビニル製 ・ステンレス製
			・		・なし	
	7 階段手すり					
		材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
		・集成材	・クリアツッカー	・35 ・45		
		・ステンレスパイプ	・HL			
		・鋼製パイプ	・EP-G ・SOP			
		・ビニル製ハンドル	・			
	8 黒板及びホワイトボード	(20. 2. 8)				
		種類	寸法 (mm)	色彩	形式	
		・黒板	※焼付け ・	※緑 ・黒	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・
		・ホワイトボード	※ほうろう	白	※平面 ・曲面	・スクリーン付引分 ・
	⑨ 鏡	(20. 2. 9)				
		取付箇所 (洗面所)				
		寸法 (mm) ◎900*600、				
		厚さ (mm) ※5				
	⑩ 表示	(20. 2. 10)				
		区分	材質	寸法 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm) 備考
		・衝突防止表示 (・両面 ・片面)	・ステンレス製 ・図示	・30φ ・	・市販品 ・	・図示 ・
		◎ピクトグラム	◎アクリル製 ・	◎300*300 ・	・5 + (5 捨て貼)	・図示 ◎ ドア 枠 天 端 合 っ せ
		・室名札	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・
		・とびら番号	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・
		・庁内案内板	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・
		・各階案内板	・アクリル製 ・	・図示 ・	・5 ・	・図示 ・
		・				
		案内用図記号は JIS Z 8210 による 誘導標識、非常用進入口の表示は市販品とする。 色、書体、印刷等の種別、取付形式等は図示による。				

章

20

ユニット及びその他の工事

項 目	特 記 事 項																																			
11 煙突ライニング	(20. 2. 11) ・ 煙突用成型ライニング 適用安全使用温度 ・ 400℃ ・ 650℃ ・ キャスタブル耐火材 煙突用成形ライニング材の製造所の指定する製品とする																																			
12 ブラインド	(20. 2. 12) <table><tr><th>形式</th><th>操作 方法</th><th>種類</th><th>スラットの 材質</th><th>スラット幅 (mm)</th><th>ボ ッ ク ス ・ レ ー ル の材種</th><th>寸 法 ・ 取付箇所</th></tr><tr><td>・ 横型</td><td>・ 手動</td><td>※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td><td>※アルミニウム 合金製</td><td>※25</td><td>※鋼製</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 電動</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・ 縦型</td><td>・ 手動</td><td>※2 本操作コード ・ 1 本操作コード</td><td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td><td>・ 80 ・ 100</td><td>アルミニウム合金 製</td><td>・ 図示</td></tr><tr><td></td><td>・ 電動</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> アルミスラット 焼付け塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工	形式	操作 方法	種類	スラットの 材質	スラット幅 (mm)	ボ ッ ク ス ・ レ ー ル の材種	寸 法 ・ 取付箇所	・ 横型	・ 手動	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・ 図示		・ 電動	—					・ 縦型	・ 手動	※2 本操作コード ・ 1 本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金 製	・ 図示		・ 電動	—				
形式	操作 方法	種類	スラットの 材質	スラット幅 (mm)	ボ ッ ク ス ・ レ ー ル の材種	寸 法 ・ 取付箇所																														
・ 横型	・ 手動	※ギア式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・ 図示																														
	・ 電動	—																																		
・ 縦型	・ 手動	※2 本操作コード ・ 1 本操作コード	・ アルミスラット ・ クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金 製	・ 図示																														
	・ 電動	—																																		
13 ロールスクリーン	(20. 2. 13) <table><tr><th>材種</th><th>操作方式</th><th>遮光性</th><th>寸法 (mm)</th><th>取付箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ ポリエステル</td><td>・ 電動式</td><td>・ 1 級</td><td>・ 図示</td><td>・ 図示</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・ スプリング式</td><td>・ 2 級</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・ チェーン式</td><td>・ 3 級</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料は製造所の仕様による。	材種	操作方式	遮光性	寸法 (mm)	取付箇所	備考	・ ポリエステル	・ 電動式	・ 1 級	・ 図示	・ 図示		・	・ スプリング式	・ 2 級	・	・			・ チェーン式	・ 3 級														
材種	操作方式	遮光性	寸法 (mm)	取付箇所	備考																															
・ ポリエステル	・ 電動式	・ 1 級	・ 図示	・ 図示																																
・	・ スプリング式	・ 2 級	・	・																																
	・ チェーン式	・ 3 級																																		
14 カーテン	(20. 2. 14) <table><tr><th>形式</th><th></th><th>開閉操作</th><th>ひだの種類</th><th>きれ地の種別、 品質、特殊加工</th><th>取付 箇所</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ シングル ・ ダブル</td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td><td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ</td><td></td><td>・ 図示</td><td></td></tr><tr><td>・ シングル ・ ダブル</td><td>・ 片引き ・ 引分け</td><td>・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動</td><td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ</td><td></td><td>・ 図示</td><td></td></tr></table> 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm 以上 ・	形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工	取付 箇所	備考	・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ		・ 図示		・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ		・ 図示															
形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工	取付 箇所	備考																														
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ		・ 図示																															
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、 つまひだ ・ プレーンひだ、 片ひだ		・ 図示																															
15 カーテンレール	(20. 2. 14) 材種 ※アルミニウム製 ・ ステンレス製 形式 ・ シングル ・ ダブル ・ 片引き ・ 引分け 強さによる区分 ※10-90 ・ 仕上げ ※アルマイト ・ 形状 ※角形 ・																																			
16 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	溝幅×深さ (mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ※120×150 ・ 150×80 ・ 図示 材質 ・ 集成材（仕上げ： ・ アルミニウム製 押出し型材（市販品） 表面処理・C-1 ・ C-2（・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー） ・ 皮膜等の種類 ※標準仕様書表 14. 2. 1 による ・ ・ 鋼製（仕上げ： ）																																			

章	項 目	特 記 事 項																						
20 ユニット及びその他の工事	24 旗竿	<table><tr><th>材種</th><th>形式</th><th>高さ (mm)</th><th>操作方法</th><th>固定方法</th><th>備考</th></tr><tr><td>・アルミニウム合金製 ・</td><td>・テーパー式 ・同一断面式</td><td></td><td>・ハンドル式 ・ロープ式</td><td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td><td></td></tr></table>						材種	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式						
	材種	形式	高さ (mm)	操作方法	固定方法	備考																		
	・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																			
	25 旗竿受金物	材種 ・ ステンレス製 (SUS304)																						
	26 車止め支柱	<table><tr><th colspan="2">形式</th><th>材種</th><th>柱径, 肉厚 (mm)</th><th>高さ (mm)</th></tr><tr><td>・ 上下式鎖内蔵式</td><td>・ 標準品 ・ スプリング式</td><td>・ ステンレス製 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						形式		材種	柱径, 肉厚 (mm)	高さ (mm)	・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品 ・ スプリング式	・ ステンレス製 ・	・	・	・						
	形式		材種	柱径, 肉厚 (mm)	高さ (mm)																			
	・ 上下式鎖内蔵式	・ 標準品 ・ スプリング式	・ ステンレス製 ・	・	・																			
・																								
27 フェンス	フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス 高さ ・ 図示 ・																							
28 プレキャスト コンクリート	(20. 3. 3～4) コンクリートの設計基準強度 ※水セメント比 55%以下, 単位セメント量の最小値 300kg/m³を満足する調合強度 ・ 図示 配筋 ※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。 ・ 図示 取付方法 ※図示																							
29 間知石及び コンクリート間知 ブロック積み	(20. 4. 2～3) <table><tr><th colspan="2">材種</th><th>種類</th><th colspan="2">質量区分</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 間知石</td><td>・ 花こう岩 ・ 凝灰岩</td><td>—</td><td colspan="2">—</td><td></td></tr><tr><td>・ コンクリート 間知ブロック</td><td>—</td><td></td><td>・ A</td><td>・ B</td><td></td></tr></table> 積み方 ※谷積み ・ 布積み 目塗り ・ 図示 ・ 材種 ・ 図示 ・ 厚さ ・ 図示 ・						材種		種類	質量区分		備考	・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	—	—			・ コンクリート 間知ブロック	—		・ A	・ B	
材種		種類	質量区分		備考																			
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	—	—																					
・ コンクリート 間知ブロック	—		・ A	・ B																				
30 鋼製書架及び物品棚	<table><tr><th>種類</th><th>規格等</th><th colspan="4">JIS による種類</th></tr><tr><td>・ 鋼製書架</td><td rowspan="2">JIS S 1039 の規格による</td><td>・ 1 級</td><td>・ 2 級</td><td colspan="2">・ 3 級</td></tr><tr><td>・ 鋼製物品棚</td><td>・ 4 級</td><td>・ 5 級</td><td colspan="2">・ 6 級</td></tr></table>						種類	規格等	JIS による種類				・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1 級	・ 2 級	・ 3 級		・ 鋼製物品棚	・ 4 級	・ 5 級	・ 6 級		
種類	規格等	JIS による種類																						
・ 鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・ 1 級	・ 2 級	・ 3 級																				
・ 鋼製物品棚		・ 4 級	・ 5 級	・ 6 級																				
31 屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・																							
32 洗面カウンター	材種 ・ メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・ 人工大理石 奥行き (mm) ・ 約 450 ・ 約 600																							

章	項 目	特 記 事 項											
20 ユニット及びその他の工事	33 防煙垂れ壁	・ 固定式											
		<table><tr><th>材質</th><th>厚さ (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス</td><td>※6.8 ・</td><td>※500 ・</td><td>アルミ製枠付き</td></tr></table>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き			
		材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考								
		※網入り磨板ガラス ・ 線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き								
		・ 可動式											
		<table><tr><th>材質</th><th>厚さ (mm)</th><th>高さ (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 垂直降下式 (巻取り型)</td><td>※不燃布 (不燃認定品)</td><td>※500 ・ 800 ・</td><td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)</td></tr><tr><td>・ 回転降下型</td><td>鋼板製又はアルミ製</td><td>※500 ・ 800 ・</td><td>表面仕上げ ※天井材張り ・</td></tr></table>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)	・ 回転降下型	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考									
	・ 垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・ 800 ・	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・ 可動式 (天井収納型)									
	・ 回転降下型	鋼板製又はアルミ製	※500 ・ 800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・									
	降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)												
34 屋外掲示板	照明器具	※有り	・ 無し										
	施錠	※有り	・ 無し										
	製造所												
35 収納家具	材質, 形状, 寸法 ※図示 ・ 合板類, MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外												

章	項 目	特 記 事 項																												
21 排水工事	1 排水管	排水管用材料 (21.2.1) (表 21.2.1) (21.3.3) <table><tr><th>材種</th><th>管の種類</th><th>形状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>※外圧管(1 種)</td><td>・ B 型管 ・</td><td>※図示 ・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・ VP</td><td></td><td>※図示 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ VU</td><td></td><td>※図示 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ RS-VU</td><td></td><td>※図示 ・</td><td></td></tr></table> 基床の厚さ及び種類 ・ 図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a) (1) ・ 図示 砂利事業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a) (2) ・ 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・ コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 6.14 設計基準強度 18N/mm²とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比） セメント 1：砂 2：砂利 4 程度とする。 ・ 図示	材種	管の種類	形状	呼び径	備考	・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1 種)	・ B 型管 ・	※図示 ・		・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP		※図示 ・		・ VU		※図示 ・		・ RS-VU		※図示 ・						
	材種	管の種類	形状	呼び径	備考																									
	・ 遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1 種)	・ B 型管 ・	※図示 ・																										
	・ 硬質ポリ塩化ビニル管	・ VP		※図示 ・																										
・ VU			※図示 ・																											
・ RS-VU			※図示 ・																											
2 側塊、排水柵等	(21.2.2) 側塊、排水柵等 形状及び寸法 ・ 図示 砂地業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a) (1) ・ 図示 砂利事業に用いる材料 ※標準仕様書 21.2.3(a) (2) ・ 図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※標準仕様書 6.14 設計基準強度 18N/mm ² とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調合（容積比） セメント 1：砂 2：砂利 4 程度とする。 ・ 図示																													
3 鋳鉄製ふた	(21.2.2) <table><tr><th>種類</th><th>適用荷重</th><th>鍵</th><th>備考</th></tr><tr><td>・ 水封形 ・ 簡易気密形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・ RS-VU</td><td>・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用</td><td>・ 有り ・ 無し</td><td>左記以外の品質等は(公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による</td></tr></table>	種類	適用荷重	鍵	備考	・ 水封形 ・ 簡易気密形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・ RS-VU	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は(公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による																					
種類	適用荷重	鍵	備考																											
・ 水封形 ・ 簡易気密形(パッキン式) ・ 密閉形(テーパー・パッキン式) ・ 中ふた付密閉形(テーパー・パッキン式) ・ RS-VU	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-20 用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は(公社) 空気調和衛生工学会 SHASE-S209 による																											
4 グレーチング	(21.2.2) <table><tr><th>材質</th><th>形式</th><th>用途</th><th>適用荷重</th><th>メーバーピッチ</th><th>亜鉛めっき(付着量)</th><th>上面形状</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 鋼製ホルふた</td><td rowspan="2">・ 受枠付き、ボルト固定 ・</td><td rowspan="2">・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用</td><td>・ 歩行用</td><td>・ 細目 ・</td><td>・ ()</td><td>・ 凹凸型 ・</td></tr><tr><td>・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用</td><td>・ 普通目 ・ 細目</td><td>・ ()</td><td>・ 平型 ・</td></tr><tr><td rowspan="2">・ ステンレス製</td><td rowspan="2">・ 受枠付き、ボルト固定 ・</td><td rowspan="2">・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用</td><td>・ 歩行用</td><td>—</td><td>—</td><td>・ 凹凸型 ・</td></tr><tr><td>・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用</td><td>—</td><td>—</td><td>・ 平型 ・</td></tr></table>	材質	形式	用途	適用荷重	メーバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状	・ 鋼製ホルふた	・ 受枠付き、ボルト固定 ・	・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用	・ 細目 ・	・ ()	・ 凹凸型 ・	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	・ 普通目 ・ 細目	・ ()	・ 平型 ・	・ ステンレス製	・ 受枠付き、ボルト固定 ・	・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用	—	—	・ 凹凸型 ・	・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	—	—	・ 平型 ・
材質	形式	用途	適用荷重	メーバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状																								
・ 鋼製ホルふた	・ 受枠付き、ボルト固定 ・	・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用	・ 細目 ・	・ ()	・ 凹凸型 ・																								
			・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	・ 普通目 ・ 細目	・ ()	・ 平型 ・																								
・ ステンレス製	・ 受枠付き、ボルト固定 ・	・ 溝ふた(横断用) ・ 溝ふた(側溝用) ・ 柵ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用	—	—	・ 凹凸型 ・																								
			・ T-2 用 ・ T-6 用 ・ T-14 用 ・ T-20 用	—	—	・ 平型 ・																								

章	項 目	特 記 事 項	
21 排水工事	5 街きよ, 縁石, 側溝	(21. 4. 1) (表 21. 4. 1)	
		街きよ, 縁石, 側溝	
		種類	形状, 寸法
		・ 縁石	・ 図示
		・ L 形側溝	・ 図示
		・ U 形側溝	・ 図示
		・ U 形側溝ふた	・ 図示
	地業の材料 ※標準仕様書 4. 6. 2 (a) による ・ 図示		
	砂利事業の厚さ ※100 (mm) ・ 図示		
コンクリート基礎等に用いる材料			
※標準仕様書 6. 14			
設計基準強度 18N/mm ² とする。ただし, コンクリートが簡易な場合の調合 (容積比)			
セメント 1 : 砂 2 : 砂利 4 程度とする。			
・ 図示			
6 埋戻し土	(21. 2. 3)		
	※B 種	・	

章

舗装工事

22

項目

1 路床

特記事項

(22. 2. 2, 3, 5) (表 22. 2. 2)

路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 ・
・ 遮断層	・ 川砂, 海砂又は良質な山砂(75μm ふるい通過率 10%以下)	・ 図示 ・
・ 凍上抑制層	・ 再生クワッシャラン ・ クワッシャラン ・ 切込砂利 ・ 川砂, 海砂又は良質な山砂(75μm ふるい通過率 10%以下)	・ 図示 ・
・ フィルター層	・ 川砂, 海砂又は良質な山砂(75μm ふるい通過率 6%以下) ・	・ 図示 ・

路床安定処理

・ 添加材料による安定処理

種類

・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B 種
・ フライアッシュセメント B 種
・ 生石灰 () ・ 消石灰 ()

添加量

kg (目標 CBR

・ 5 以上

・)

・ ジオテキスタイル

単位面積質量

・ 60g/m²以上

・

厚さ (mm)

・ 0.5～1.0

・

引張強さ

・ 98N/5cm(10kgf/5cm) 以上

・

透水係数

・ 1.5×10⁻¹cm/sec 以上

・

試験

砂の粒度試験

・ 行う

・ 行わない

路床土の支持力比(CBR) 試験

・ 行う

・ 行わない

路床締固め度の試験

・ 行う

・ 行わない

項目

2 路盤

特記事項

(22. 2. 2, 3, 5) (表 3. 2. 1)

路盤の厚さ

・ 図示

・

路盤材料

・ 碎石

・ 再生クラッシャラン

・ クラッシャラン鉄鋼スラグ

・

・ 図示

試験

路盤締固め度の試験

※行う

・ 行わない

項目

3 アスファルト舗装

特記事項

(22. 4. 2～6) (表 22. 4. 1)

アスファルト舗装の構成及び厚さ

※図示

・

材料

アスファルト

・ 再生アスファルト

・ ストレートアスファルト

骨材

・ 道路用碎石

・ アスファルトコンクリート再生骨材

加熱アスファルト混合物の種類

区分	地域	種類
表層	・ 一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13) ・ 細粒度アスファルト混合物(13)
	・ 寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物(13F) ・ 細粒度アスファルト混合物(13F)
基層	一般及び寒冷地域	粗粒度アスファルト混合物 (20)

シーリングの施工

・ 行う

・ 行わない

試験

アスファルト混合物等の抽出試験

・ 行う

・ 行わない

舗装の平坦性

※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・

加熱混合物製造施設：茨城県指定のアスファルトコンクリート合材混合所

章	項 目	特 記 事 項																
22 舗装工事	4 コンクリート舗装	(22. 4. 2～6) (表 22. 4. 1) コンクリート舗装の厚さ <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">コンクリート舗装</td><td>車道部</td><td>・ 図示 ・ 150 ・</td></tr><tr><td>歩道部</td><td>・ 図示 ・ 70 ・</td></tr><tr><td>転圧コンクリート</td><td>車道部</td><td>・ 図示 ・ 150 ・</td></tr></table> 縁部立下り寸法等 ・ 図示 材料 コンクリート ・ 標準仕様書表 22. 5. 2 による ・ 早強セメント ・ 使用する ・ 使用しない 注入目地材料 ・ ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 転圧コンクリートの工法 ※図示 ・ 目地 種類, 間隔, 構造 ※標準仕様書表 22. 5. 4 及び図 22. 5. 1 による ・ 図示 試験 コンクリート版厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない	舗装の種類	部位	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150 ・	歩道部	・ 図示 ・ 70 ・	転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150 ・					
	舗装の種類	部位	厚さ (mm)															
	コンクリート舗装	車道部	・ 図示 ・ 150 ・															
		歩道部	・ 図示 ・ 70 ・															
	転圧コンクリート	車道部	・ 図示 ・ 150 ・															
5 カラー舗装	(22. 6. 2～4) (表 22. 6. 1) <table><tr><th>種類</th><th></th><th>部位</th><th>車道部の基層</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 加熱系</td><td>・ アスファルト混合物</td><td rowspan="2">・ 車道 ・ 歩道</td><td>・ 無し</td><td rowspan="2">・ 図示</td></tr><tr><td>・ 石油樹脂系混合物</td><td>・ 有り</td></tr><tr><td>・ 常温系</td><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 舗装厚さの許容差 ※標準仕様書 22. 4. 2(c) による ・ 材料 添加する材料 ・ 着色骨材 () ・ 自然石 () 配合 結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ・ 樹脂系混合物, ニート工法及び塗布工法の配合等 ・	種類		部位	車道部の基層	厚さ (mm)	・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道 ・ 歩道	・ 無し	・ 図示	・ 石油樹脂系混合物	・ 有り	・ 常温系	・			
種類		部位	車道部の基層	厚さ (mm)														
・ 加熱系	・ アスファルト混合物	・ 車道 ・ 歩道	・ 無し	・ 図示														
	・ 石油樹脂系混合物		・ 有り															
・ 常温系	・																	
6 透水性アスファルト舗装	(22. 7. 2, 3, 6) 適用範囲 <table><tr><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>ストレートアスファルト</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・	材料	厚さ (mm)	ストレートアスファルト	・ 図示 ・													
材料	厚さ (mm)																	
ストレートアスファルト	・ 図示 ・																	
7 排水性アスファルト舗装	(22. 8. 2, 3, 6) <table><tr><th>区分</th><th>種類</th><th>材料</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>表層</td><td>・ 排水性舗装用アスファルト混合物 ・</td><td>・ ポリマー改質アスファルトⅡ型 ・</td><td>・ 図示 ・</td></tr><tr><td>基層</td><td>・ 加熱アスファルト混合物等 (密粒アスファルト混合物) ・</td><td>・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト</td><td>・ 図示 ・</td></tr></table> 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	区分	種類	材料	厚さ (mm)	表層	・ 排水性舗装用アスファルト混合物 ・	・ ポリマー改質アスファルトⅡ型 ・	・ 図示 ・	基層	・ 加熱アスファルト混合物等 (密粒アスファルト混合物) ・	・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト	・ 図示 ・					
区分	種類	材料	厚さ (mm)															
表層	・ 排水性舗装用アスファルト混合物 ・	・ ポリマー改質アスファルトⅡ型 ・	・ 図示 ・															
基層	・ 加熱アスファルト混合物等 (密粒アスファルト混合物) ・	・ 再生アスファルト ・ ストレートアスファルト	・ 図示 ・															

章	項 目	特 記 事 項																					
22 舗装工事	8 ブロック系舗装	・コンクリート平板舗装 (22.9.2, 3) <table><tr><th>種類</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>目地材</th><th>備考</th></tr><tr><td>※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・</td><td>※300 角 ・</td><td>・ 60</td><td>※砂 ・モルタル</td><td>表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td></tr></table> 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は 3mm 以内 ・	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・	※300 角 ・	・ 60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し											
		種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																	
		※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・	※300 角 ・	・ 60	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																	
		・インターロッキングブロック舗装 (22.9.2, 3) <table><tr><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>曲げ強度 (N/mm²)</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・</td><td>車道部 ※80 ・</td><td>※5.0 ・</td><td rowspan="3">色彩、面加工 ・標準品 ・</td></tr><tr><td>歩道部 ※60 ・</td><td>※3.0 ・</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は 3mm 以内 ・	種類	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・	車道部 ※80 ・	※5.0 ・	色彩、面加工 ・標準品 ・	歩道部 ※60 ・	※3.0 ・											
		種類	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																		
		※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・	車道部 ※80 ・	※5.0 ・	色彩、面加工 ・標準品 ・																		
			歩道部 ※60 ・	※3.0 ・																			
		・舗石舗装 (22.9.2, 3) <table><tr><th>材種</th><th>寸法 (mm)</th><th>厚さ (mm)</th><th>施工方法</th><th>基層</th></tr><tr><td>※小舗石 (花こう岩) ・</td><td>・ ・</td><td>・ 80 ・</td><td>・うろこ張り ・</td><td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td></tr></table> 仕上り面の平たん性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は 3mm 以内 ・	材種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	※小舗石 (花こう岩) ・	・ ・	・ 80 ・	・うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装											
		材種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層																	
※小舗石 (花こう岩) ・	・ ・	・ 80 ・	・うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																			
9 砂利敷き	種別 (22.10.1) ・A 種 (施工範囲：・図示 ・通路 ・) ・B 種 (施工範囲：・図示 ・建物周囲 ・)																						
		10 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による <table><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅 (mm)</th><th>塗布厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・1 種</td><td>常温</td><td rowspan="2">液状</td><td rowspan="2">・白 ・</td><td>・150</td><td>・1.0</td></tr><tr><td>・2 種</td><td>加熱</td><td>・100</td><td>・</td></tr><tr><td>・3 種 1 号</td><td>溶融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	・1 種	常温	液状	・白 ・	・150	・1.0	・2 種	加熱	・100	・	・3 種 1 号	溶融	粉体状	
種類	施工		適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)																	
・1 種	常温		液状	・白 ・	・150	・1.0																	
・2 種	加熱				・100	・																	
・3 種 1 号	溶融		粉体状																				

章	項 目	特 記 事 項															
23 植栽及び屋上緑化工事	1 植栽地の確認等	(23. 1. 3) 土壌の水素イオン濃度 (pH) 試験 ・ 行う ・ 行わない 水溶性塩類 (EC) の試験 ・ 行う ・ 行わない															
	2 植栽基盤の整備	<table><tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ (cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>・ 樹木</td><td>※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種</td><td>樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)</td><td>・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr><tr><td>※芝, 地被類</td><td>※B 種 ・</td><td>※20 ・</td><td>・ 植栽部分 ・ 図示 ・</td><td>・ 適用する ・ 適用しない</td></tr></table> 植栽基盤の排水整備 ・ 設ける (※図示 ・) ・ 設けない	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木	※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない	※芝, 地被類	※B 種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない
	植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材												
	・ 樹木	※A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種	樹高 12m 以上 (※100 ・ 120 ・ 150) 樹高 7m 以上～12m 未満 (※80 ・ 100) 樹高 3m 未満 (※50 ・ 60)	・ 葉張り部分 ・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない												
	※芝, 地被類	※B 種 ・	※20 ・	・ 植栽部分 ・ 図示 ・	・ 適用する ・ 適用しない												
	3 植込み用土	(23. 2. 3) ※現場発生土の良質土 ・ 客土															
	4 土壌改良材	(23. 2. 3) ・ バークたい肥 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 50L ・) ・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 施工箇所 ※植栽範囲 ・ 図示 使用量 植栽基盤面積 1 m ² あたり (・ 10L ・) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第 1 の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする															
	5 樹木	(23. 3. 2) 樹種, 寸法, 株立数等 ・ 図示 ・															
	6 支柱材	(23. 3. 2, 3) 紙駐在 ※丸太 (間伐材) ・ 真竹 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 形式 ・ 図示 ・															
	7 幹巻き用材料	(23. 3. 2) 材料 ※幹巻き用テープ ・ わら及びこも															
	8 芝張り	(23. 4. 2) 種類 ※コウライシバ ・ ノシバ 芝張りの工法 平地 ※目地張り ・ ベタ張り 法面 ・ 目地張り ※ベタ張り															
9 吹付けは種	(23. 4. 2) <table><tr><th>種子の種類</th><th>発芽率</th><th>種子の量 (g/m²)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※洋芝類 (採取後 2 年以内)</td><td>※80%以上</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考	※洋芝類 (採取後 2 年以内)	※80%以上			・							
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m ²)	備考														
※洋芝類 (採取後 2 年以内)	※80%以上																
・																	
10 地被類	(23. 4. 2) <table><tr><th>樹種</th><th>コンテ径</th><th>単位面積当たりのコンテ数</th><th>芽立数</th></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	樹種	コンテ径	単位面積当たりのコンテ数	芽立数	・				・							
樹種	コンテ径	単位面積当たりのコンテ数	芽立数														
・																	
・																	
11 新植, 移植樹木, 芝等の枯保証	(23. 3. 4, 6) (23. 4. 7) 新植樹木 (芝張り, 吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ※引渡しの日から 1 年 ・ 無し 移植樹木の枯損処理を行う期間 ※引渡しの日から 1 年 ・ 無し																

章	項 目	特 記 事 項
23 植栽及び屋上緑化工事	12 屋上緑化	植栽基盤及び材料 (23.5.2, 3) ・屋上緑化システム ・ 土壌層の厚さ ・ 図示 ・ ・ 排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成型品 ・ 植込み用土 ※改良土 ・ 人口軽量土 ・ 樹木の樹種並びに種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ ・屋上緑化軽量システム ・ 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 ・ ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 (23.5.4) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1 ・1.15 ・1.3）倍 の風圧力及び積雪荷重に対応した工法） ・適用しない ・ 支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ） ・ かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ）
その他	1 軽微な変更の対応 （あらかじめ検討）	施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、 あらかじめの検討を行っている部分 本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、 品質管理上の施工誤差を許容するものではない。 ・ 杭の芯ずれを考慮した検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・ 杭の長さの変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・ 梁貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※図示 ・

特 記 仕 様 書 （改修機械設備工事）

I 工 事 概 要

- 1 工 事 名 H30 柿岡小学校管理室及教室棟トイレ改修工事
- 2 工事場所 石岡市柿岡 2159 番地 2
- 3 敷地面積
- 4 工事範囲 1, 2, 3 階トイレ部分
- 5 建物概要

（全体）

建物名称	管理室及教室棟				
構 造	RC 造	一部	造	造	一部 造
階 数	地上 3 階	地下	階	地上 階	地下 階
建築面積	m ²			m ²	
延べ面積	m ²			m ²	

（建物毎の各階床面積）

建物名称	地下1 階	1 階	2 階	3 階	4 階	5 階	計

6 別途工事

Ⅱ 機械設備工事仕様

1 共通事項

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」（平成２８年版）（以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」（平成２８年版）（以下「改修標準仕様書」という。）による。

2 特記事項

- (1) 項目は、番号に□のついたものを適用する。
- (2) 特記事項で※印、・印のある場合の適用は、下記による。
 - ※印を適用する。
 - ・印のついたものは適用しない。
- (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該表及び当該図を示す。
- (4) 建築工事、電気設備工事は、別記各工事の特記仕様書等による。

Ⅲ 特記仕様

第1章 一般共通事項

1 適用基準等

- ※ 「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕設備部監修 平成28年版）
- ※ 「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版）
- ※ 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版）
- ※ 「営繕工事写真撮影要領（平成24年版）同解説 工事写真の撮り方（建築設備編）」（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

2 技術者等

建設工事請負契約書に基づき、現場代理人及び技術者（主任技術者・監理技術者・専門技術者）を配置する。

3 技能士等

- ・ 適用する ・ 適用しない (1.5.2)
- ◎配管技能士 ・ 熱絶縁施工技能士 ・ 冷凍空気調和機器施工技能士
- ・ 建築板金技能士 ・ 計装士

4 電気保安技術者

- ・ 適用する ・ 適用しない (1.3.2)

5 工事実績情報の登録

- ※ 適用する（付記事項参照）

6 設計図書の優先順序

- (1) 質問回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面
- (5) 標準仕様書及び改修標準仕様書

7 監督員事務所

- ※ 設けない ・ 設ける（種別 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号）

8 機器及び材料

- (1) 本工事に使用する機器及び材料（以下（機材）という。）は、設計図書に規定するもの、標準仕様書、設備機材等評価名簿（最新版（一社）公共建築協会）によるもの又は同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。

- (2) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成29年2月7日閣議決定）」（以下「グリーン購入法基本方針」）により、県が定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材については、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。

- (3) 上記の条件を満たすものが、石岡市産品で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。

なお、石岡市産材とは、「石岡市内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。

9 機材の検査等

検査及び試験を必要とする機材等は、標準仕様書によるほか下記による。

- (1) 機材は種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、JISマーク等が表示された機材で所要の品質があることが確認でき設計図書に適合するものは、監督員の承諾を受けて検査を省略することができる。
- (2) 設計図書に定められた場合、又は試験によらなければ設計図書に定められた条件に適合することが証明できない場合には、試験を実施する。試験方法は、JIS、SHASE-S等に定めがある場合は、それらによる。試験完了後、試験成績表を監督員に提出する。監督員が必要と認める場合には、試験に立ち会う。

10 建設発生土の処理等

- ・ 構外搬出適切処理 ※ 構内の指示する場所に敷き均し ・ 構内の指示する場所にたい積

- ・ 構外搬出指定場所（ 地内 ・ 敷き均し ・ たい積）（付記事項参照）

11 発生材の処理等 (1.3.9)

- ※ 構外搬出とし、関係法令に準拠して適切に処理し、監督員に報告する。
 - ・ 引き渡しを要するもの（ ）
- ※ 空調機に使用されているフロン類は、当該空調機を撤去・処分する際に回収し破壊処理すること。

12 下請負人通知

建設工事請負契約書に基づく下請負人通知書2部を、市と請負契約を締結した日から原則として30日以内、その後の下請契約に係るものは、契約締結の日から10日以内に提出するものとする。

13 施工図等の取り扱い

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

14 提出書類

提出書類は、下記による。（※ 透明書類ケースに入れて提出する）

※ 写 真

適用	内 容	枚数	部数	提出方法
※	工事写真	適宜	1	電子納品
※	完成写真（支払用：外観及び内観）	3枚以上	1	A4版

上記のほかにも出来高検査、中間検査等に要する写真は、監督員の指示により提出する。

- ※ 工事実績情報の登録内容確認書（請負代金の額500万円以上となる工事）
- ※ 火災保険等に加入したことを証明できる書類
- ※ 建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書（請負代金の額500万円以上となる工事）
- ※ 施工計画書（請負代金の額500万円以上となる工事）
- ※ 実施工程表（全体工程、月間工程、3週工程）
- ※ 使用資機材メーカー一覧表
- ※ 機器・材料納入仕様書
- ※ 施工図
- ※ 施工体系図（提出したものを工事関係者及び公衆が見やすい場所に掲示すること）
- ※ 施工体制台帳（提出したものを現場に備え置くこと）
- ※ 試験成績表
- ※ 機器類保証書
- ※ 各種届出書類控
- ※ 産業廃棄物処理関係書類
 - （処理フロー図（種類、数量）、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写し、委託契約書の写し、許可証の写し、運搬経路図、運搬車両一覧表、写真（積込、場外搬出時、処分場搬入時、荷下状況））
- ※ 保守点検に必要な工具
- ※ 完成図
 - ※ 製本 2部
 - ※ 縮小版（A3）製本 1部
 - ※ 完成図CADデータ（CD-R 又は DVD-R） 1枚
 - ※ 維持保全に関する資料（完成図書） 1部
- 1. 使用資機材メーカー一覧表
- 2. 官公署届出書類
- 3. 機器完成図、検査合格証、取扱説明書

4. 試験成績書
5. 機器類保証書, 工事保証書
6. その他監督員が指示するもの

※ CD-R 又は DVD-R 1枚

完成図面（JWW形式）、完成写真（J P E G 形式）を収録したもの

※ その他 監督員が必要と認め、指示した書類及び部数

第2章 共通工事

1 機器の規格

機器類の仕様は、図面による。

2 各種配管工事の試験

配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は保温施工前に行う。試験方法及び試験圧力等は、標準仕様書によるものとし試験記録表を監督員に1部提出する。

3 測定表

試運転調整完了後、すみやかに下記の各測定結果をまとめた測定表を監督員に1部提出する。（測定内容及び測定箇所等は、監督員の指示による。）

・ 温度 ・ 湿度 ・ 風量 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 水量

4 容量の表示

- (1) 電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。ただし、防災機器は除く。
- (2) 冷・温熱源機器等及び防災機器の能力、容量は、その数値以上のものとする。

5 土工事

(4.2.1)

根切りは、周辺の土質などに適した工法とし、土砂が崩壊しないように関係法令に準拠し適切な法面をつけるか、山留めを設ける。（山留め箇所は、図示による。）

6 管端防食継手

(2.1.2)

塩ビライニング鋼管、耐熱性ライニング鋼管及びポリ粉体鋼管でねじ接合する場合の継手は、管端防食管継手とする。

7 管の切断

(2.5.1)

塩ビライニング鋼管、耐熱性ライニング鋼管、ポリ粉体鋼管及び外面被覆鋼管は、帯のこ盤又はねじ切り機搭載形自動丸のこ盤等で切断し、パイプカッターによる切断は禁止する。

8 異種管の接合

標準仕様書第2編2.5.17による。なお、接合要領は標準図施工3によるものとする。

9 吊り及び支持

(2.6.3)

標準仕様書第2編第2章第6節によるほか、次による。

- (1) 屋外支持材は、溶融亜鉛めっき又はステンレス製とする。（ボルト、ナット等は、ステンレス鋼製とする。）
- (2) 50A以下の鋼管は、形鋼振れ止め支持間隔を8m以下とする。
- (3) 梁貫通により振れ止めがされている場合は、その部分を形鋼振れ止め支持されているものとみなす。

10 地中埋設標

(標準図、機材2)

- ※ 設置する （・ 給水 ・ 排水 ・ ガス ・ 消火 ・ 油）
- ・ 設置しない

11 埋設表示テープ

標準仕様書によるほかテープ幅は 150 mm とする。

12 地中埋設の深さ

- ・ 管の上端まで 60 cm
- ・ 管の上端まで cm ◎ 既存に合わせる

(ただし、建物に引き込む場合等は、監督員の承諾を得て埋設深さを変更することができる。)

13 伸縮管継手を備えた配管

(2. 4. 1 (e))

標準仕様書による。

14 管のフランジ接合

(2. 4. 5, 2. 4. 6, 2. 4. 7, 2. 5. 2, 2. 5. 3, 2. 5. 4, 2. 5. 6)

標準仕様書によるほか、機器周りの配管はフランジ接合とする。ただし、鋼管及びライニング鋼管の梁貫通の場合は、片側をネジ接合としてもよい。

15 塗装工事

標準仕様書（第 2 編 3. 2. 1）による。

16 防食処置

標準仕様書（第 2 編 2. 7. 3）による。

- (1) 土中埋設の鋼管類（排水配管の鋼管類、合成樹脂などで外面を被覆された部分の配管は除く。）には、標準仕様書により防食処理を行う。
- (2) コンクリートに埋設される鋼管、鉛管、銅管は、プラスチックテープを 1/2 重ね 1 回巻きとする。

17 識別色

標準仕様書によるほか、埋設表示テープ及び地中埋設標の識別色は、給水は青、排水はシルバー、消火は赤、ガスは黄とする。

18 保温工事

標準仕様書第 2 編 第 3 章 第 1 節によるほか下記による。

- (1) 機器類付属弁類、槽類、煙道及び管寄せの保温外装は、アルミニウム板及びカラー亜鉛鉄板をステンレス板に ・ 読み替える ・ 読み替えない
- (2) ロックウール、グラスウールを使用した保温材のホルムアルデヒドの放散量 ・ F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆

19 表示札等

鍵及び弁等に取り付ける表示札は、プラスチック製（白色）とし、系統名及び常時開又は閉の文字を記入する。

20 貫通部の処理

(2. 8. 1)

標準仕様書第 2 編第 2 章第 8 節による。

本工事に使用するスリーブは、下記による。

(2. 2. 27)

- ・ つば付き鋼管製スリーブ（・ 防水壁 ・ 防水床）（つば付き鋼管製は第 2 編表 2. 2. 11 による。）
- ・ 紙製スリーブ（・ 壁 ・ 床）
- ・ 管とスリーブとの隙間のシーリング材は、ホルムアルデヒド、トルエン、エチルベンゼン等を放散しないか、放散が少ないものとする。
- ・ 配管が防火区画を貫通する場合は、建築基準法に適合する工法又は、国土交通大臣認定を受けた工法とし、貫通部に適用するものとする。（認定書を提出し、標識を適当な位置に貼り付けること。）

21 はつり

既製コンクリートの床、壁の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

22 他工事との取り合い

- (1) 鉄筋コンクリートの梁、床、壁貫通のスリーブ補強 ・ 箱入れ補強 ・ 本工事 ・ 別途工事
- (2) 天井、壁のボード類（軽量鉄骨も含む）の補強及び切込み ◎ 本工事 ・ 別途工事

- | | | |
|--|-------|--------|
| (3) 天井改め口 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (4) 外壁に取り付けるガラリ、換気扇枠、フード | ◎ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (5) 機器のコンクリート基礎 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| 屋内設置のもの | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (6) 防煙ダンパーと連動制御器までの電気工事 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (機器付属電線と電気工事電源電線及び電気工事電源開閉器との連続は、別途工事とする。ただし、接続については、電気工事受注者と十分に協議のうえ実施すること。なお、コンセントへの接続は、本工事とする。) | | |
| (7) 地震感知器の配管配線 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (8) 排煙濃度計の指示計までの配管配線 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |
| (9) 天井吊形及び隠ぺい形ファンコイルユニットと操作スイッチ間の渡り配管配線 | ・ 本工事 | ・ 別途工事 |

23 機器等の耐震施工

設備機器設備の固定は標準仕様書によるほか、建設大臣官庁官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」及び一般財団法人日本建築センター発行「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。

24 工事用電力・用水・その他

本工事に必要な工事用電力、用水、その他の費用は全て受注者の負担とする。一般的な電力、用水は無償支給

25 揮発性有機化合物（VOC）を使用した材料の対応

- (1) 揮発性有機化合物（以下VOCという。）対策については、極力含有量の少ない材料を使用することとする。
- (2) 屋内清掃を行うときは、VOCを含む材料を使用しないこと。やむを得ず使用するときは、監督員の承諾を得ること。
- (3) VOCを含む材料を使用して施工した場合は十分に換気すること。

26 埋蔵文化財の調査

文化財保護法に基づく「周知の埋蔵文化財包蔵地内」

- (1) 掘削作業に際しては、工事立会、試掘確認調査等を要する。

施工にあたっては、あらかじめ、工事日程、掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上、監督員、施設管理担当、石岡市教育委員会文化振興課と協議すること。

- (2) 掘削作業に際しては、慎重に施工のこと。施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告すること。

27 あと施工アンカー

- (1) 配管、ダクト、機器等の天井吊り下げ用アンカーには、接着系アンカーを使用しないこと。
- (2) あと施工アンカーの施工に際しては、品質管理上、施工についての指導を行う施工技術管理者を配置や、十分な経験と技能を有する技能者により施工すること。

第3章 衛生器具設備工事

1 衛生器具の接続

衛生器具と排水配管との接続には、鉛管に代えて排水用フレキシブル継手を使用してもよい。

2 衛生陶器の隙間調整

衛生陶器を据え付ける際の隙間調整は、ゴムシートなどの耐久性に優れた材料を使用すること。

第4章 給水設備工事

- 1 水道加入金 ・ 別途 ・ 本工事

2 保温

※ 標準仕様書による。

- ・ 屋外露出管（弁、フランジ類を含む）の保温材の厚さは、呼び径 25 mm以下は 30 mm，呼び径 32 mm以上のものは、40 mm以上とする。

第5章 排水設備工事

- 1 流し接続管 床上露出部分は、硬質ポリ塩化ビニル管（VP）でもよい。

2 鋳鉄製ふたの文字

- ・ 汚 水 ・ 雑排水 ・ 雨水 ・ 実験排水 ・ その他

3 鋳鉄製ふたの破壊荷重

- ・ 中荷重 60 kN以上（丸枠） ・ 重荷重 200 kN以上（丸枠）

4 屋外排水管理設要領

根切り底から 100 mm碎石敷き込みを行い、管を布設して管頂から 100 mmまでを山砂にて埋め戻す。

残りの部分は ・ 根切り土 ・ 山砂 で埋め戻す

- 5 小口径樹 下水道管理者等と協議・承諾のうえ使用する。

- 6 エア抜き用排水 自動エア抜きの排水は、専用配管で排水処理をする。

第12章 換気設備工事

- 1 準用事項 第10章空気調和設備工事の当該事項に準じる。

- 2 一般湯沸器の天蓋 ・ 別途 ・ 本工事

3 厨房用天蓋

(1) 材種 ※ステンレス製(SUS304，厚さ 1.0 mm以上とする。)

(2) 帯板（フードから天井まで） ・ 別途 ・ 本工事

(3) グリスフィルターは予備品として 100%納入する。

4 保温

(1) 多湿箇所（・浴室 ・ 厨房）の外気取り入れ風道は保温する。ただし、送風、排風機は除く。

施工範囲は、図示による。

(2) 全熱交換ユニット用のダクト（・外気取り入れ ・ 排気）は保温する。

施工範囲は、図示による。

- 5 端末装置 ・ リモートステーション（RS） ・ ダイレクトデジタルコントローラ（DDC）
・ ユーザーターミナル（UT）

6 表示及び警報

室内外の温湿度表示、冷温水の温度表示、運転・故障・警報の表示のほか、細目は図示による。

7 自動制御装置

(1) 図示されていない配線配管等の本数及び寸法は、製造者の仕様としてよい。

(2) 自動制御回路には、サージ防止装置を ・ 取り付ける ・ 取り付けない

8 その他

- (1) 室内形の温度検出器，湿度検出器はケース付きとし，取付け位置は標準仕様書による。
- (2) 地震感知器の取付位置は標準仕様書による。
- (3) 地震感知器の作動により，バーナー及び給油用電磁弁等を作動させ，速やかに燃焼を停止，消火させる。

機 械 設 備 図 示 記 号 一 覧 (1)

図 示 記 号	名 称	備 考	図 示 記 号	名 称	備 考
給 水 管 —— VLP —— —— VLPD —— —— VW —— —— HI ——	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 耐衝撃性塩化ビニル管	一般配管 土中埋設 一般配管 土中埋設	排 水 管 —— —— VP —— —— LP —— —— D-VA —— —— ——) —— —— = TMP —— —— REP-VU —— —— RF-VP ——	配管用炭素鋼鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 排水・通気用鉛管 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (内面) 排水用鋳鉄管 遠心力鉄筋コンクリート管 耐火二層管 再生硬質塩化ビニル管 (排水用リサイクル硬質塩化ビニル管) 再生硬質塩化ビニル管 (建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管)	一般配管 土中埋設 一般配管 一般配管 一般配管 一般配管 一般配管 土中埋設 土中埋設
給 湯 管 —— HTLP —— HTLP —— SUS —— SUS	水道用耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 水道用耐熱性塩化ビニルライニング鋼管 ステンレス鋼鋼管 ステンレス鋼鋼管	一般配管 一般配管 一般配管 一般配管	冷 水 管 —— C —— —— CR ——	配管用炭素鋼鋼管 配管用炭素鋼鋼管	
消 火 管 —— X —— —— X ^{VS(PS)} ——	配管用炭素鋼鋼管 硬質塩化ビニル(ポリエチレン)外面被覆鋼管 (白管に被覆)	一般配管 土中埋設	温 水 管 —— H —— —— HR ——	配管用炭素鋼鋼管 配管用炭素鋼鋼管	
通 気 管 ----- ----- VP -----	配管用炭素鋼鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管		冷 温 水 管 —— CH —— —— CHR ——	配管用炭素鋼鋼管 配管用炭素鋼鋼管	
冷 却 水 管 —— CD —— —— CDR ——	水道用塩化ビニルライニング鋼管 水道用塩化ビニルライニング鋼管				

機 械 設 備 図 示 記 号 一 覧 (2)

図 示 記 号	名 称	備 考	図 示 記 号	名 称	備 考
膨 張 管 —— E ——	配管用炭素鋼鋼管				
冷 媒 管 —— R —— —— RR —— —— R —— —— RR ——	銅管 銅管 銅管 (被覆) 銅管 (被覆)				
油 管 —— O —— —— OR ——	配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)				
油用通気管 —— OV ——	配管用炭素鋼鋼管				
低圧蒸気管 —— / —— ----- / -----	配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)				
ガ ス 管 —— G <u>PLP</u> ——	ポリエチレン被覆鋼管又は 塩化ビニル被覆鋼管				

数量					単位	
仮設工事						
墨出し		4.2 *	5.4 *	4	90.72	103.0 m ²
養生		2 *	1.5 *	4	12	103.0 m ²
整理清掃後かたづけ					102.72	103.0 m ²
内部足場						103.0 m ²
廊下養生						
4 *	5 *		2	40		
4 *	2 *		3	24		
9 *	2 *		3	54		
4.5 *	2 *		1	9		
18 *	2 *		1	36		
2 *	16.5 *		1	33		
2 *	1.5 *		4	12		
				208		208 m ²
ブース						
4.15 *	1.8 *	1 *	4	29.88		
1 *	1.8 *	4 *	4	28.8		
1 *	1.8 *	2 *	4	14.4		
2 *	1.8 *	1 *	4	14.4		
1 *	1.8 *	1 *	4	7.2		
3.6 *	1.8 *	1 *	1	6.48		
1 *	1.8 *	3 *	1	5.4		
2 *	1.8 *	2 *	1	7.2		
1 *	1.8 *	2 *	1	3.6		
				117.36 m ²		117 m ²
処分費(木	117.36 *	0.04 *	1 *	1	4.6944 m ³	4.7 m ³
運搬費	4t				2 台	2 台
解体費					1 式	1 式
ブース新設						
TB-1	4B					1 ケ所
TB-2	4B					1 ケ所
TB-3	4B					1 ケ所
TB-4	2B					1 ケ所
TB-5	2B					3 ケ所
TB-6	2B					1 ケ所
TB-7	1B					3 ケ所
TB-8	1B					1 ケ所
和便器を洋便器に交換 全量の50%洋便に						
				8		8 ケ所
小便器交換 材						
				4		4 ケ所

	手間		4		4ヶ所
手洗器	1		1		1ヶ所
紙巻器	7 *	4	28		28ヶ所
陶器処分	和便器	kg	20 *	8	160
	小便器	kg	20 *	4	80
	手洗い	kg	10 *	1	10
			250		0.25 t
床復旧費	配管共		1		1ヶ所
床解体費			1		1ヶ所
換気扇	径150		5		5ヶ所
照明器具(DL)	鏡	8			
計	ブース		4		12ヶ所
床面積					
	4.5 *	6.8 *	5	153	
	-2.2 *	1.4 *	5	-15.4	
	4.5 *	5.5 *	1	24.75	
				162.35	162 m ²
床タイル撤去					
	4.15 *	5.35 *	4	88.81	
	2 *	1.4 *	4	11.2	
	-1.1 *	1.4 *	4	-6.16	
	-0.35 *	1.2 *	4	-1.68	
	4.2 *	4 *	1	16.8	
	2.85 *	0.9 *	1	2.565	
				111.535	112 m ²
がれき処分					
	111.535 *	0.03		3.34605	3.3 m ³
運搬費	3.3 *	2.5		8.25	t
4t車					2台
床モルタル金ゴテ厚30					112 m ²
ビニル床シート厚2.5					112 m ²
天井EP塗り替え					112 m ²
巾木	5.4				
	4.15				
	6.7				

1.1			
3.6			
1.1			
2.3			
0.6			
0.3			
0.3			
0.3			
	25.85 *	4	103.4

5.4			
4.2			
5.4			
1.35			
1.1			
	17.45 *	4	69.8

173.2 173 m

巾木下地、樹脂モル塗 173 m

巾木見切金物 173 m

壁

化粧ケイカル板貼 既存100角タイル下地

4.15 *	2.6 *	2 *	4	86.32
6.7 *	2.6 *	2 *	4	139.36
2.3 *	2.6 *	2 *	4	47.84
1.1 *	2.6 *	1 *	4	11.44
0.4 *	2.6 *	2 *	4	8.32
0.8 *	2 *	1 *	-2	-3.2
4 *	1.3 *	1 *	-2	-10.4
4.2 *	2.6 *	2 *	1	21.84
5.4 *	2.6 *	2 *	1	28.08
0.8 *	2 *	1 *	-2	-3.2
4 *	1.3 *	1 *	-2	-10.4

316.00 316.00 m²

FALSE

ピクトサイ: 2 * 5 10 10ヶ所
職員2ヶ所共

代価 男女間仕切壁

2 *	2.6 *	1	5.2
1 *	2.6 *	1	2.6
			7.8 m ²

4ヶ所

LRS65	7.8	7.8
GW50	7.8	7.8
ケイカル板厚	15.6	15.6
PB厚9.5	15.6	15.6
下地処理	15.6	15.6
EP	15.6	15.6
巾木	6	6

計

H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事

設 計 図

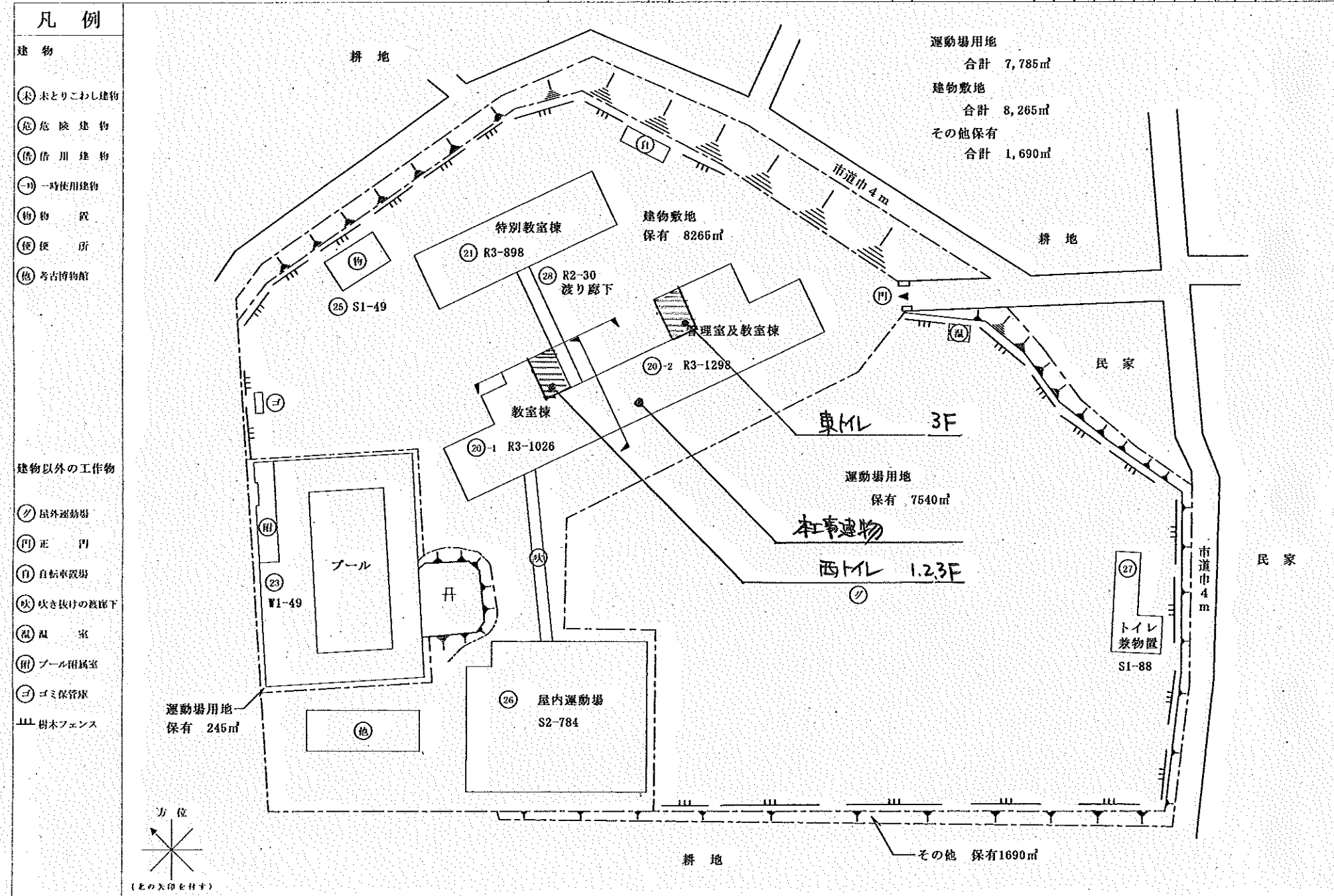
2018

図面番号	図面名称	縮尺
	表紙	
A- 1	図面リスト	
A- 2	案内図・配置図	1/800
A- 3	工事概要書,内部仕上表	
A- 4	平面図 (現況図)	1/100
A- 5	平面詳細図ー1 (参考図)	1/50
A- 6	配管図ー1 (参考図)	1/50
A- 7	配管図ー2 (参考図)	1/50
A- 8	平面詳細図ー1 (改修図)	1/50
A- 9	平面詳細図ー2 (改修図)	1/50
A- 10	建具表 (改修図)	1/100
A- 11	衛生機器リスト (改修図)	

H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事	
図面リスト	A-1

(平成28年度)

施設の配置図	縮尺		学校名	柿岡小学校	調査番号	(標高m)	(座 標)	(学 校)	整理番号
					08	205	1231	0512	



文 部 科 学 省

工事概要書

工事名
建設地
主要用途
工事種別
建築主

H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事
石岡市柿岡2159番地2
小学校
改修工事
石岡市長 今泉文彦
石岡市石岡一丁目1番地1
〒315-8640 0299-23-1111

工期
構造
階数
建物高さ

平成30年 月 日～平成30年 月 日 予定
鉄筋コンクリート造
3階建
最高の高さ m
最高軒高 m

延床面積(棟別)

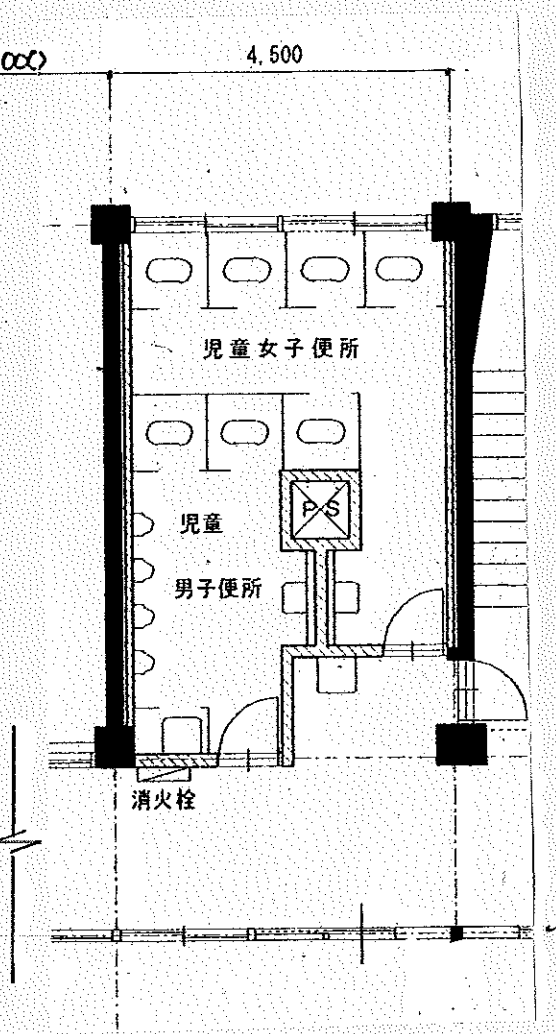
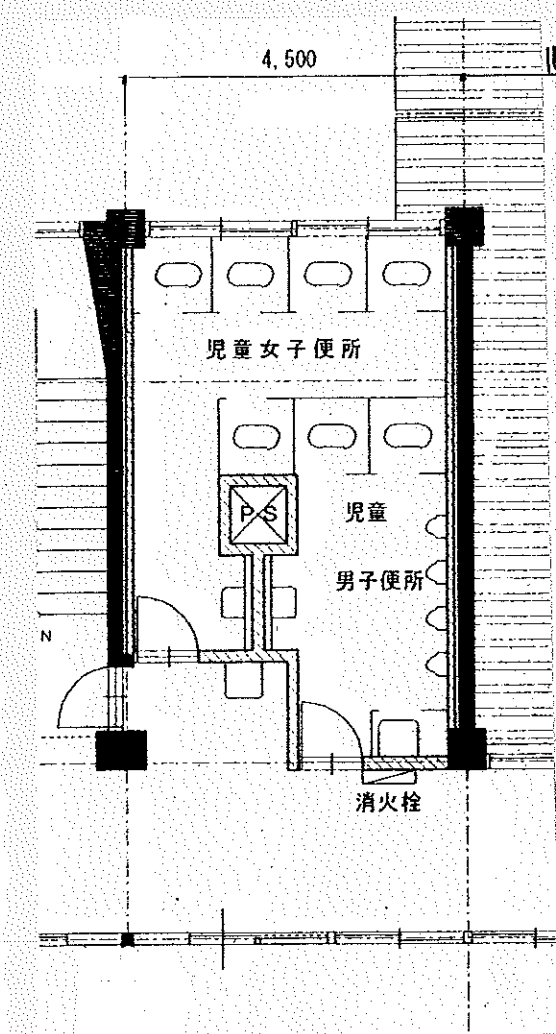
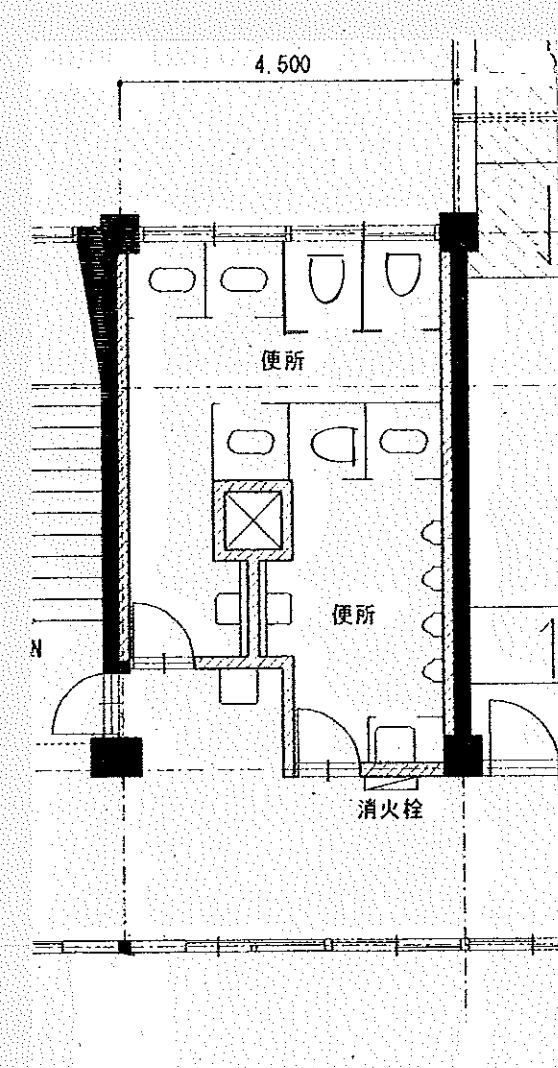
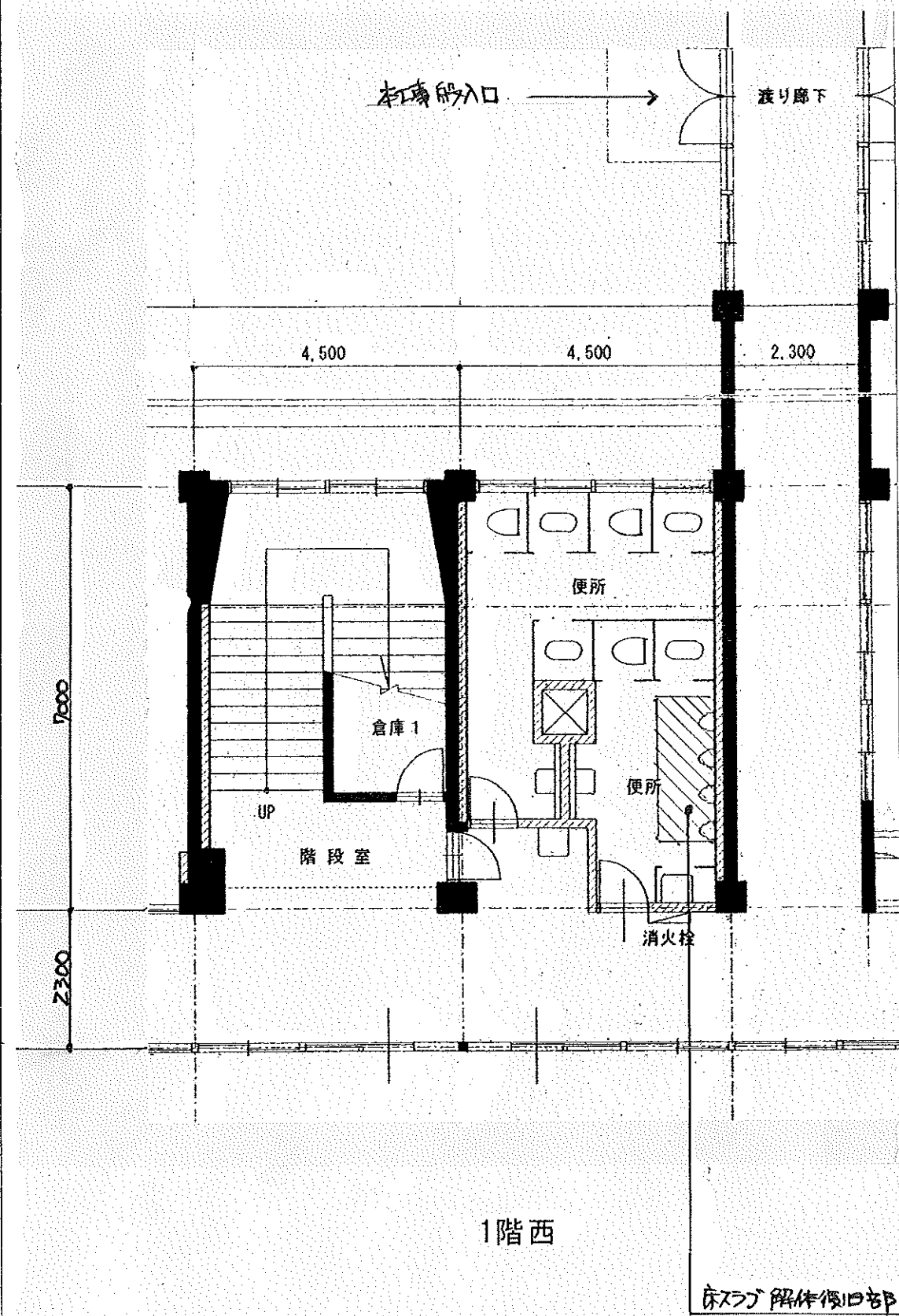
m² (棟番号20)

内部仕上表

階	室名	現況・改修	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1～3階	男女便所 (8か所)	現況	モザイクタイル貼り(FL-50)	壁に同じ	100角タイル貼り	大平板厚4目すかしVP	フクビ	2600	
		改修	モザイクタイル貼り撤去 モルタル金ゴテ下地新設厚30程度 ビニル床シート厚2.5マーブル貼(FL-50) (耐水・溶接工法) 和便器撤去部スラブ改修 (差筋D-10 L=450 @200程度補強) 1F一部スラブ解体、設備配管改修後 スラブ復旧 湿式を乾式に改修	既存タイルの上に樹脂モルタル薄塗 H=100 ビニル床シート厚2.5巻き上げH=100 アルミ見切り(男女間仕切壁共)	既存100角タイル貼り下地 化粧ケイカル板厚5張り (FL+100°天井) 男女間仕切壁 LGS65+GW厚50(24Kg)+ PB厚9.5+ ケイカル板厚5EP(両面)	一部取り外し、復旧 EP(既存部全て)	既存	2600	ブース撤去 8ヶ所 ブース新設 12ヶ所 ピクトサイン新設 300*300*5+5 10ヶ所 天井照明移設(40W直付) 4ヶ所 ダウンライト新設(1400 lm) 4ヶ所 (天井照明に接続) 天井換気扇設置(Φ150) 4ヶ所

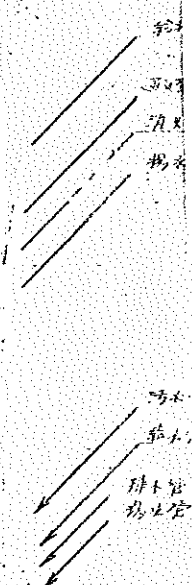
* 使用材料は全て「F★★★★」以上とする

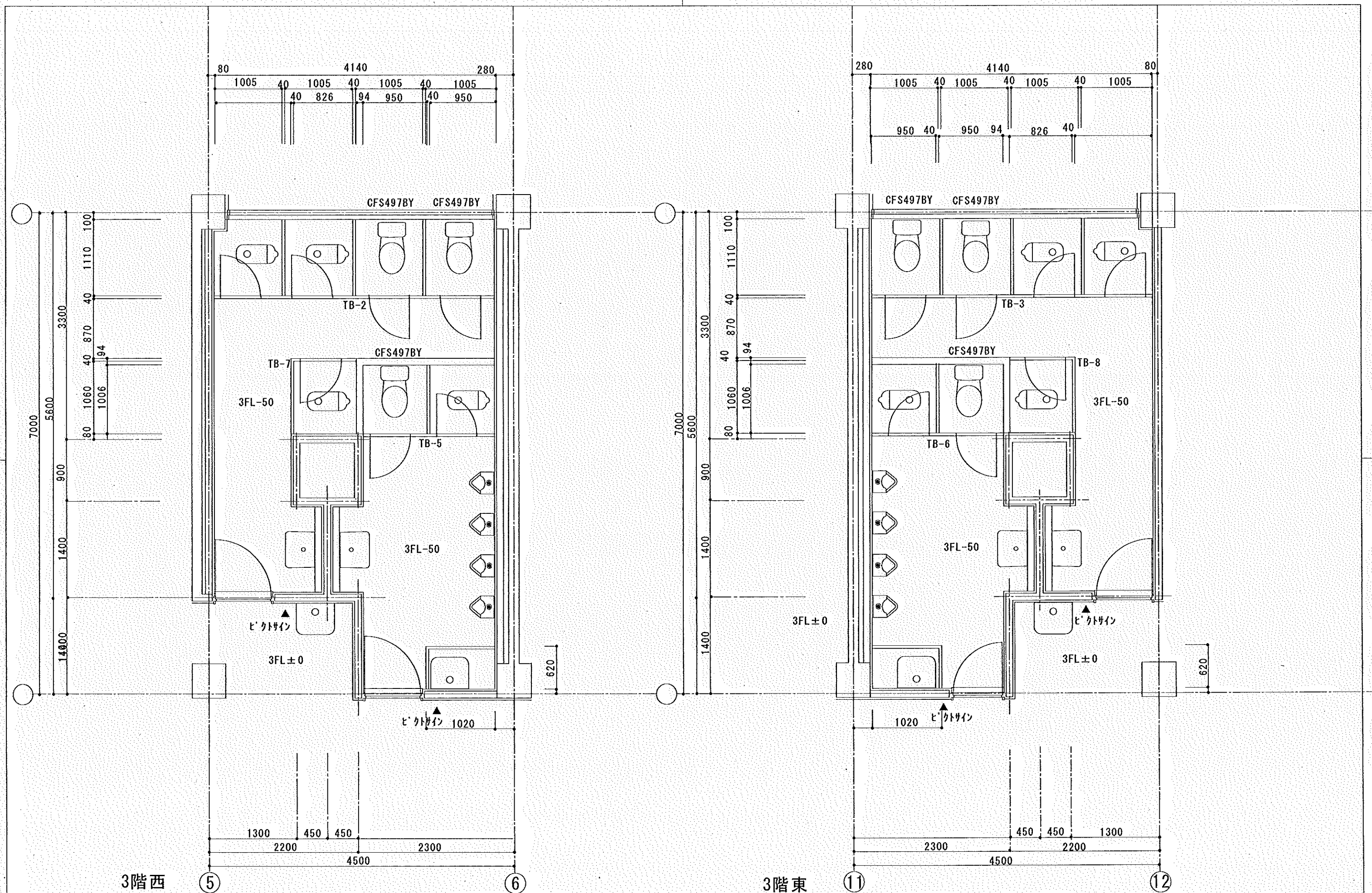
H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事		
工事概要書・内部仕上表		A-3





H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事
平面詳細図(参考図) 1/50 (A3) A-5





記号・数量	1ヶ所		1F西女子		1ヶ所		3F西女子		1ヶ所		3F東女子									
姿図																				
名称	トイレブース		同左		同左		同左													
材料・仕上	メラミン化粧板厚40 アルミエッジ		同左		同左		同左													
硝子																				
金物	ラバトリーヒンジ SUS巾木 フック付き帽子掛け(内開き)		同左		同左		同左													
備考	隔て板3ヶ所(1110W) ストッパー+フック(外開き) 表示錠		同左		同左		同左													
記号・数量	1ヶ所		2F西女子		3ヶ所		1, 2, 3F西男子		1ヶ所		3F東男子		3ヶ所		1, 2, 3F西女子		1ヶ所		3F東女子	
姿図																				
名称	トイレブース		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左			
材料・仕上	メラミン化粧板厚40 アルミエッジ		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左			
硝子	フック付き帽子掛け(内開き)																			
金物	ラバトリーヒンジ 表示錠 SUS巾木 ストッパー+フック(外開き)		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左			
備考	隔て板1ヶ所(1110W)		隔て板1ヶ所(1000W)		同左		同左		同左		同左		同左		同左		同左			
* 現況寸法確認の上施工図作成の事																		H30 柿岡小学校 管理室及教室棟 トイレ改修工事		
メラミン材色彩は「アイカ***」程度の色数より選択とする																		建具表 1/100(A3) A-10		
詳細寸法はメーカー仕様による																				

衛生機器リスト

[illegible]

本工事対象外

[illegible]